

2024.6.7 理事会 議決

2024.6.25 評議員会 議決

2023(令和 5)年度

# 事業報告書

社会福祉法人 恵仁福祉協会

高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ



## 目 次

○ 表紙	1
○ 目次	3
○ 運営理念	5
○ スローガン	6
○ 行動規範	7
○ 2023年度事業報告 恵仁福祉協会 総括	8
○ 2023年度社会福祉法人指導監査資料	10
○ 資産(土地建物)の状況	11
○ 定款変更の状況他	12

### [事業報告]

○ 総務部 (総括・法人運営・主行事)	13
各種研修会	19
年度別職員状況報告書	20
・総務課 (総括・安全運転管理者)	21
・会計課 (総括)	25
○ 施設事業部 (総括)	27
・施設事業課 (総括)	28
特別養護老人ホームアザレアンさなだ 長期ユニット(総括・実績)	30
特別養護老人ホームアザレアンさなだ 短期ユニット(総括)	35
・栄養管理(総括・実績)	36
・地域密着型施設事業課 (総括)	38
横尾サテライト(総括・実績)	39
大畑サテライト(総括・実績)	43
・認知症対応型事業課 (総括・GH実績)	47
萩・曲尾グループホーム (総括・実績)	50
下原グループホーム①・② (総括・実績)	52
真田グループホーム (総括・実績)	56
菅平グループホーム (総括・実績)	59
菅平グループホーム共用型 (総括・実績)	61
○ 在宅事業部 (総括)	63
・通所介護事業課 (総括)	64
デイサービスセンターアザレアン (総括・実績)	65
訪問入浴サービスアザレアン (総括・実績)	68
日常生活支援総合事業アザレアン (総括・実績)	70

萩の家（総括・実績）	71
・訪問介護事業課（総括）	75
ホームヘルパーステーションアザレアン(総括・実績)	76
24時間対応型ホームヘルパーステーションアザレアン(総括・実績)	77
有償日常生活支援サービス、障害福祉サービス(実績)	
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン（総括・実績）	81
・小規模多機能型事業課（総括・実績）	84
大畑の家（総括）	86
新田の家（総括）	87
・相談支援事業課（総括）	88
居宅介護支援センターアザレアン(総括・実績)	89
各事業所所属の介護支援専門員（総括）	91
○ 医療連携部、医療事業課（総括）	92
・訪問看護ステーション真田（総括・実績）	93
・各事業所所属の看護職員 PT・OT・DH・管理栄養士（総括）	98
○ ナーサリーさなだ（総括）	99
○ 10年後のアザレアンを考える会（総括）	101
○ 委員会活動報告	102

事業報告 総括の項目

- ① 事業内容(2023 年度総括)
- ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について
- ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)
- ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

「人として 幸せに 安心して 生きる日々を 大切に」

理念とは、理想的な介護、客観的な知識、事実に裏打ちされた理論、そして、恵仁福祉協会のすべての役職員の信念（思い）が統合されたものです。

そのため、理念は、具体的な実践ができる理論的な裏づけがなければ意味を持ちません。さらに、仕事に従事する者は、これらの理念を熟知し、日常の業務活動に反映させることが大切です。理念を前提に、事業所や職場に適応し成長し改善する姿勢が重要です。

恵仁福祉協会の理念は、平成11年度に「アザレアンさなだの本質」を繰り返し展開した結果、生まれた13の要件をまとめたものです。その要件とは、

- (1) 生活の継続  
住み慣れた地域やバックグラウンドにこだわり、住み替えやサービス利用でその人らしさが失われないようにします
- (2) サービスタイミングと量の確保  
適時、適量のサービス提供で、生活上のリスクを最小限にとどめる予防を進めます
- (3) 人づくり  
理念を知り、その実現のために実践する人づくりを行います
- (4) 地域の信頼  
地域の期待に応え、地域の信頼を得るようにします
- (5) 個別性  
一人の人として認める「まなざし」を持ちます
- (6) 見守り  
手をかけず、目を離さず常に見守る姿勢、態度を意識します
- (7) 仲間  
地域で暮らす仲間、活動を共にする仲間、同じ想いを持つ仲間を大切にします
- (8) 自由の選択  
自由は放任ではない事を理解します
- (9) 権利の尊重  
人として尊重されるべき「権利」、その人が本来持つ「力」の存在を引き出す援助を心がけます
- (10) サービスの選択  
課題が明確にされ、何をどうしたいのかという葛藤に焦点を当て、「選択」に意味を持つ事を理解します
- (11) サービスの質と量の確保  
生活支援は包括的なサービス提供が前提です。そのためにはサービスの種類、質、量の確保は絶対条件です。したがって、「この程度でいい」は「その程度の暮らし」でしかないということを意識します
- (12) 本人の意思の尊重  
「こうありたい」という意志がどのような場面、状態にあっても、あることを信じることから始まります
- (13) 人間理解  
生活支援はその人を「知る」ことから始まります

### 1. 「「理念」と「組織」と「人づくり」を一体に」

恵仁福祉協会が掲げる理念は、高齢者支援の本質を述べるものであり、我々が悩み、困惑したときに立ち返ることの出来るものです。その理念を具現化することが、組織の役割・使命となりますが、そのため「組織」をどのような体制に組み立てて運営していくのかということが重要になります。そして「組織は人なり」と言われるように、「人づくり」が組織力の要になると考えます。

つまり、理念を共有し、理念の具現化に向けたモチベーションの高い人をどれだけ育成するかが組織の生命線になります。

法人では、職員一人一人のやるべき事が、事業計画、職務分掌、職能要件により示され、法人から職員への期待と、目標に向けた達成度を確認しながら個々が成長する仕組みがあります。これは、職員一人一人の作業が、より質の高い恵仁福祉協会を作りあげていくためには必要であることを意味します。

### 2. 「ご利用者様本位で解りやすく、利用しやすく、迅速に、親切丁寧に」

高齢者福祉の課題は介護に特化されるものではなく、様々なニーズによって成り立っています。

社会福祉によって救済される必要のある事案と、自立支援のための社会サービスの利用が未だに混同し、「福祉サービス」として曖昧に取り扱われています。そこで、福祉サービス提供者として「説明責任」をもって提供し、曖昧な中でサービス提供が行われなように注意を図る必要があります。

特に社会福祉によって救済される必要のある事案には、市町村からの援助が適切に受けられる様に、当事者の立場に立って情報提供や制度活用、権利擁護や代弁等を行い、生活支援、介護支援、医療支援、経済支援等を包括的に提供していきたいと考えます。

### 3. 「NO」と言わず、まず「YES」から始める

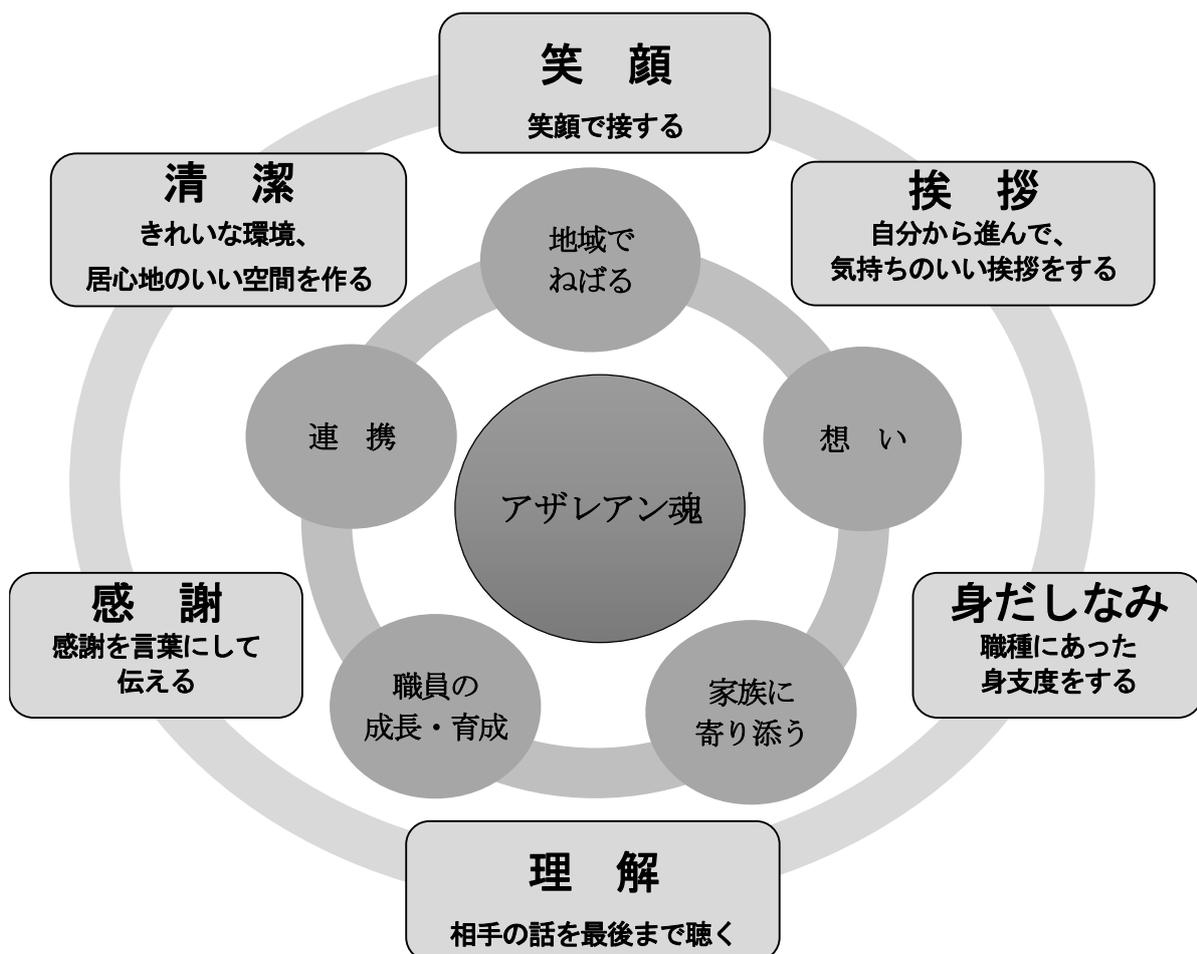
社会福祉法人の使命は、我々の都合でサービスを創り、提供することではなく、ご利用者様の気付くことができない「あるべき姿」の提案から出発していかなければなりません。

もし、法人の方針や体力が未成熟で、個々の要求に対して「NO」と言えば、法人、施設、ご利用者様、地域社会の成長も望めません。

「していないこと」ことを「出来ていない」には決してしないこと、まずは「YES」からはじめること、考え工夫することを地域への約束とします。

- ・笑 顔 笑顔で接する
- ・挨拶 自分から進んで、気持ちのいい挨拶をする
- ・身だしなみ 職種にあった身支度をする
- ・理 解 相手の話を最後まで聴く
- ・感 謝 感謝を言葉にして伝える
- ・清 潔 綺麗な環境、居心地のいい空間を作る

### 《アザレアン魂を体現する6つの実践》



## 1. はじめに

2023 年度は、「運営理念」「スローガン」「6つの実践（行動規範）」「2023 年度事業計画骨子」を 2022 年度に引き続きピンク色の名刺大の大きさで作成し全職員に配布しました。継続事項として会議開催時に「理念とスローガン」を唱和し、行動規範を毎朝理事長の言葉として発信し共有サーバー内の「理事長からの一言」に記載し周知しました。昨年に引き続き法人の一体化に向けて努力した一年であったと思います。何か課題にぶつかった時は必ず「理念に立ち返ろう」こうした姿勢は単年ではなく継続して全職員に浸透させていかなければならない想いであり、小さな積み重ねが組織の一体化につながると考えています。

また、介護職員の人財不足は慢性的で、特に夜勤のできる職員が補充できず、現在頑張ってくれている職員の負担感につながっています。法人は今まで外国人の雇用は考えてきませんでしたが、2024 年度からは外国人の技能実習生を受け入れることを決定し、今後安定した人財確保につなげたいと思っています。人財が充実することで、今まで以上に良いサービスを提供し、地域の方々の信頼と期待に応えられる組織となるように、より一層努力し続けたいと思います。

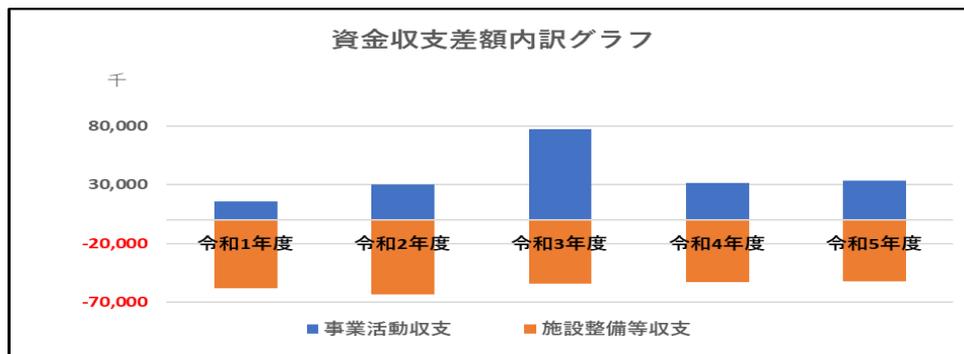
## 2. 経営について

経営の安定化、健全化を目標としてきましたが、2 期連続の赤字経営となりました。各事業所が質素倹約に努めてくれ、また空き情報や行事予定表を持参して営業努力に励み、良いサービス提供を目標に行ってきましたが、水道光熱費・燃料・物価等の高騰による事業費・事務費の支出の増加、人財不足によるショートステイ減床の為の収入の減少等、結果的には 19,000 千円ほどの赤字運営となってしまいました。（事業活動資金収支差額 33,000 千円ほどの黒字:下記表・グラフ参照）。

詳細は各事業所の報告に代えさせていただきたいと思いますが、今後も地域の人口減少、介護人財の減少、高齢者のニーズの多様化に沿って当法人は、時代の要請に応え、柔軟かつ健全な経営を目指していきたいと考えています。

また、2023 年度を以て配食サービス事業から撤退する事になりました。ホームページにおいてもお詫び文を掲載させていただきましたが、法人の 30 周年事業で行なったクラウドファンディングにて購入させていただいた配食用車両の用途を、訪問看護事業所が引き継がせていただきます。事業にご協力していただき応援して下さった皆様方には心から感謝申し上げます。

	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業活動収支	15,950,523	29,959,335	77,280,395	31,702,812	33,137,193
施設整備等収支	-57,924,446	-63,178,290	-53,912,283	-52,800,407	-52,192,099
資金収支差額	-42,321,323	-32,865,555	23,288,912	-20,978,795	-19,124,706



### 3. 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、2023年5月8日から「5類感染症」になり、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取り組みをベースとした対応に代わりましたが、施設・在宅サービスを展開する法人としての対応は引き続き全職員のマスク着用、予約による面会等制約のある中でのサービス対応とさせていただきます。一度感染症が入りますと以前より重度化はしませんが、感染力が強く、サービス継続が難しい状況になります。今後ご利用者様の健康を守ることを優先した感染予防を行いながら、皆様の生活の質も考えていきたいと思っています。

### 4. 地域の一員として

地域に点在している各事業所が今まで開催出来なかった運営推進会議を再開し、地域行事への参加をすることが出来るようになりました。今まで以上に顔が見える関係性を築きたいと考えています。

2023年取り組んだことについて羅列します。

- ・ 地域の関係機関と協力して取り組んで来ました「グリュックの会」（子ども食堂、食材配布=上田市社会福祉協議会真田地区センター、かりがね福祉会と共催）を継続しました。
- ・ さなだ支え合い会議（おすそ分け会、よろず講演会、ぶらさなだなど=真田の郷まちづくり推進会議、NPO法人さなだスポーツクラブ、上田市社会福祉協議会真田地区センター、かりがね福祉会と共催）を通じて子どもさんや生活に困窮されている方の支援をしました。
- ・ 菅平地域の「菅平健康長寿リハビリ体操」（菅平の民生委員さん、福祉委員さんと協力して菅平の家を使用して運営）を開催しました。
- ・ 地域の方々と意見交換できる運営推進会議（大畑の家、新田の家、萩の家、4か所のグループホーム、サ高住・24時間型ホームヘルプステーションアザレアン、特養アザレアンさなだ、横尾サテライト、大畑サテライトで実施）を開催しました。
- ・ 「さなだの福祉を考える会」の運営に参加しました。（真田地域及び周辺地域の福祉・医療・保険等に携わる団体及び個人が協働して人々が住みやすい地域を創造していくことを目的として、情報交換、研修事業等を行っています）
- ・ 相談窓口であります居宅介護支援センターアザレアンを通じて、住み慣れた住まいや地域で暮らしたい方の支援を行ってまいりました。

これからも地域の一員として繋がり、地域に貢献しつつ、地域の皆様の幸せと安心・安全の実現に力を尽くしてまいります。

## 2023年度社会福祉法人指導監査資料

### 1 社会福祉法人の概要

(2024年4月1日現在)

法人名	恵仁福祉協会	代表者氏名	小林 彰
認可年月日	平成 5年 3月 31日	設立登記年月日	平成4年 4月 13日
主たる事務所の所在地	長野県上田市真田町長7141番地1 (電話) 0268-72-2781 (FAX) 0268-72-4702		

### 2 社会福祉法人の行う事業

#### (1) 第1種社会福祉事業

施設の種類の	名 称	事業開始日			施設長名	定員	職員数	
		年	月	日			専任	兼任
介護老人福祉施設	アザレアンさなだ	5	4	1	永井悦子	30	24	18
介護老人福祉施設	サテライト型居住施設	17	12	1	永井悦子	12	7	3
介護老人福祉施設	横尾サテライト	26	4	1	永井悦子	10	6	1

#### (2) 第2種社会福祉事業

施設の種類の	名 称	事業開始日			施設長名 (管理者)	定員	職員数	
		年	月	日			専任	兼任
短期入所生活介護	アザレアンさなだ	5	4	1	永井悦子	21	(24)	(18)
通所介護	デイサービスセンターアザレアン	5	4	1	永井悦子	40	10	13
〃(認知症対応型通所介護)	萩の家	24	6	1	酒井知子	12	3	3
認知症対応型 共同生活介護	萩・曲尾グループホーム (新築移転)	10	10	1	西藤一成	6	4	3
		24	5	1				
〃	下原グループホーム (新築移転) (増築)	12	3	1	田中広一	12	5	6
		24	5	1				
		26	4	1				
〃	真田グループホーム (新築移転)	13	11	1	五十嵐由美子	6	3	4
		24	5	1				
〃	菅平グループホーム	20	5	1	縷澤智子	6	3	5
(認知症対応型通所介護)	菅平グループホーム	28	4	1	縷澤智子	3		
訪問介護	ホームヘルプステーションアザレアン	12	4	1	尾澤美恵		4	15
〃	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	28	11	1	唐澤聖子		1	(15)
小規模多機能型居宅介護	大畑の家	17	12	1	上野和哉	登録25	4	6
〃	新田の家	26	4	1	兼宗佐織	登録25	6	9

#### (3) 公益事業

事業名	事業内容	事業開始日			職員数	
		年	月	日	専任	兼任
訪問看護	訪問看護、居宅療養管理指導	10	3	1	4	1
訪問入浴	訪問入浴	12	4	1	1	7
居宅介護支援	居宅介護支援、ケアプラン作成等	12	4	1	5	3
配食サービス(R6.3.31終了)	弁当(1日3食)の宅配サービス	12	4	1	2	3
宅老所宿泊	宅老所緊急宿泊	15	10	1		
有償日常生活支援サービス	介護保険サービス外 訪問介護	27	11	1	(4)	(15)
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン	サービス付き高齢者向け住宅	28	10	1	(1)	7
総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業	29	9	1	(1)	3
ナーサリーさなだ	企業所内保育所事業	30	12	1	2	4

資産(土地・建物)の状況

(2024.3.31現在)

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況		抵当権設定年月日	
			定款	登記簿		有無	提供先		
I 基本財産 1 土地	上田市真田町長字蓮台7141-1	宅地	10,794.25		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7156	宅地	1,584.05		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7146-3	宅地	23.45		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7150-1	宅地	46.64		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7155-7	宅地	82.13		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7140-2	雑種地	1,791.00		駐車場	有・無			
	上田市真田町長字蓮台7140-3	雑種地	6.36		駐車場	有・無			
	上田市菅平高原1260-16	宅地	2,155.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-23	宅地	504.69		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-28	宅地	206.55		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-29	宅地	130.45		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1262-15	宅地	939.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1262-20	宅地	364.55		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市真田町本原770-12	宅地	35.18		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原771-7	宅地	84.59		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原777-17	宅地	3.69		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原777-18	宅地	113		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原772-2	宅地	2,162		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原772-4	宅地	119		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原771-5	宅地	8		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町傍陽字中村6185-2,6190	宅地	908.5		敷地	有・無	上田信用金庫	R4.2.8	
	2 建物	上田市真田町長字蓮台7141-1,7156	鉄筋コンクリート造 瓦葺平屋建	家屋番号7141-1		老人ホーム	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
		7150-1,7155-7,7146-3		2,794.89					
		上田市真田町長字蓮台7141-1	鉄筋コンクリート造 鉄骨造 敷き平屋建	家屋番号7141-1-2		有・無		長野県信用組合	H27.6.29
		上田市真田町長字蓮台7141-1	鉄骨造 合金メッキ鋼板 ぶき平屋建	家屋番号7141-1		有・無		長野県信用組合	H27.6.29
		上田市菅平高原1260-28,-29,-16	木造和洋メッキ 板葺平屋建	家屋番号1260-28		有・無		上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
		上田市菅平高原1260-28,-29,-16	木造和洋メッキ 鋼板葺2階建	家屋番号1260-28		有・無		上田信用金庫	H20.7.23
上田市真田町傍陽字中村6185-2,6190		木造合金メッキ 鋼板葺平屋建	家屋番号6185-2		有・無		上田信用金庫	H24.3.29	
上田市真田町本原字大鷹ヶ668-1		木造かわら葺 平屋建	家屋番号668-1		有・無		上田信用金庫	H24.3.29	
上田市真田町長字甲石4201-2,4205-4,4203-2		木造かわら葺 平屋建	家屋番号4205-2		有・無		八十二銀行		
上田市上田字秋葉裏2545番5		木造合金メッキ 平屋建	家屋番号2545番5		有・無		八十二銀行		
上田市真田町本原772番2		木造合金メッキ 平屋建	家屋番号772番2		有・無		上田信用金庫	H28.12.5	
II その他の 固定資産 (運用財産) 1 土地		上田市菅平高原1223-1900	山林	1,662.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6012	宅地	619.96		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6014	宅地	187.95		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6015	畑	259.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原1223-6823	山林	104.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1260-17	宅地	281.93		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1260-22	宅地	1,100.64		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1262-18	宅地	117.94		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	2 建物	上田市菅平高原1223-6012,1223-6014	軽鉄骨造 亜鉛/亜鉛鋼瓦葺 平屋建	家屋番号1223-6012		作業所	有・無		
		1260-17		470.61					
		上田市真田町長字重附7329-4,7329-11	軽鉄骨造 亜鉛/亜鉛鋼瓦葺 2階建	家屋番号7329-4		有・無		上田信用金庫	H29.2.9
				1階	340.2				
			2階	340.2					

## 3 定款変更の状況

(2024.3.31現在)

区 分	定款変更の要否	手続状況
事 業 内 容	有 ・ 無	
事務所の所在地	有 ・ 無	
役 員 定 数	有 ・ 無	
資 産	基本財産の増加	有 ・ 無
	基本財産の減少	有 ・ 無
条 文 整 備	有 ・ 無	第39条 公益事業整理等 R6.3.31配食サービス事業終了
そ の 他	有 ・ 無	

## 4 変更登記の状況

区 分	変更登記年月日
目的・事業	年 月 日
	年 月 日
名 称	年 月 日
事務所所在地	年 月 日
代表者氏名等	05年 6月 28日
資産の総額	05年 6月 28日

## 5 監事の監査状況(令和4年4月～令和5年3月)

## (1) 監事監査の実施状況

監査年月日	実施監事名	監査の内容及び指示・指導事項	改善状況又は今後の改善計画
令和5年5月18日	寺沢 博文 中澤 創	適正かつ正確に処理されている。	(改善 令和5年6月2日) 固定資産管理台帳の「実査」へ

## (2) 監査報告(令和3年度決算分)

評議員会報告 令和5年6月23日  
 理事会報告 令和5年6月2日  
 所轄庁(知事)への報告

## 6 財務諸表及び事業報告書の開示方法

開示の有無	開示の方法(今後の予定)
有	WAMNETに決算内容を報告し、その内容をインターネットで閲覧できるようにする。 ホームページで開示

## 7 役員等の状況

## (1) 定数・現員等

区 分	定数	現員	欠員	欠員が生じた年月日	補充の予定
顧 問				・ ・	無し
理 事	7	7	0	・ ・	無し
監 事	2	2	0	・ ・	無し
評議員	9	9	0	・ ・	無し

① 事業内容(2023 年度総括)

総務部は「事務部門」「会計部門」「運転部門」の 3 部門に分けられます。2023 年度事業計画骨子に基づき 3 つの柱について具体的行動計画を定め、総務部全体の重点目標を掲げて 3 部門の意識統一を図り、法人全体のサービスが円滑に遂行できるよう事業所との業務連携を促進しました。

1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

「誠実」をキーワードに行動しました。

2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

日頃の業務に追われて余裕がない時こそ「優しさ」の本質が問われるものと考えました。

3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

「さなだ支え合い会議」「にじいろカフェ」の活動を推進しました。

法人の取組を象徴する認定事項を積極的に取得して法人格の向上に努めました。

「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・給与支払日を 10 日から 15 日に変更・・・[100%](前年度より準備していたため円滑に移行できました)
- ・給与明細書のメール配信化を促進・・・[80%](全職員段階的に情報共有と試験送信を実施しました。メール送受信率 92.2%(目標値 90%以上)により、令和 6 年度に実行致します)
- ・不妊治療と仕事との両立を促進・・・[30%](助成金制度等の検討とニーズの調査により制度化を検討しましたが、規程の確立に至らず次年度事業に継続します)
- ・業務手順書を作成・・・[20%](総務部全体として各種業務の手順書完成には至っていません。引き続き職務分掌の充実と業務手順書の連動に向けてまいります)

③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・規程整備の継続と周知(業務手順書、各種マニュアル、固定資産、備品管理台帳等)
- ・事務の整備と簡素化(アウトソーシング・電子媒体切替)の推進

④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・総務分散(トータルサポート)を後半期 9 月 1 日からスタートしました。令和 6 年度も継続して担当者毎にサポート計画をたてて各事業所の定めた目標と連携を図ります。
- ・災害時の対応力(風水害、地震災害、積雪、設備老朽等)を強化し、法人内で共有します。

理事会、(定時)評議員会、第三者委員会、運営協議会の状況 [出席状況:出席数/定数]

●2023年度(令和5年度) 理事会

令和5年度第1回理事会 令和5年6月2日(金曜日) [理事:5/7・監事:2/2]

第1号議案 2022年度 事業報告書(案)について

第2号議案 2022年度 決算報告書(案)について

第3号議案 2022年度 法人監事監査報告について

第4号議案 手形貸付根保証の期限延長について (R5.7.4 議案名訂正)

手形借入上限1億円の借入枠(期間 R5.7.1~R6.6.30)について

第5号議案 規程の変更について(給与規程第8条、第16条追記・第6章追加)

第6号議案 令和5年度第2回理事会(書面決議)の開催について

第7号議案 令和5年度第1回運営協議会の招集について

第8号議案 規程の変更について (パートタイマー就業規則第3条・第19条・第45条)

第9号議案 規程の変更について (旅費規程・役員及び評議員の報酬等に関する規程)

令和5年度第2回理事会(書面決議) 令和5年6月23日(金曜日) [監事異議なし、全理事]

定款施行細則第26条(3) 理事長及び常務理事の選定

令和5年度第3回理事会(書面決議) 令和5年7月28日(金曜日) [監事異議なし、全理事]

2023年度日本財団補助施設の修繕・改造等に関する助成事業の募集について

議案名の訂正について(R5.6.2 理事会・R5.6.23 評議員会 第4号議案)

令和5年度第4回理事会 令和5年10月20日(金曜日) [理事:6/7・監事:1/2]

第1号議案 規程の変更について (就業規則…裁判員休暇の追加)

第2号議案 組織の変更について (総務部「課」「係」の変更)(総務部分散)

第3号議案 規程の制定について (新型コロナウイルス感染症対応特別有給休暇)

規程の制定について (車両管理規程)

令和5年度第5回理事会 令和6年2月2日(金曜日) [理事:6/7・監事:2/2]

第1号議案 規程の変更について (パートタイマー就業規則…社保パートの年齢上限)

第2号議案 規程の変更について (稟議規程…参与の権限)

第3号議案 規程の変更について (給与規程…年未年始手当等)

第4号議案 第三者委員の選任について (飯島恵美氏 第三者委員候補)

令和5年度第6回理事会 令和6年3月15日(金曜日) [理事:6/7・監事:2/2]

第1号議案 2023(令和5)年度 予算の補正について

第2号議案 2024(令和6)年度 事業計画書(案)について

第3号議案 2024(令和6)年度 予算計画書(案)について

第4号議案 配食サービス事業の終了について

第5号議案 定款の変更について (公益事業内容の削除)

第 6 号議案 組織の変更について（居宅介護支援センターアザレアンの管轄）

第 7 号議案 令和 5 年度第 3 回評議員会開催について

●2023 年度(令和 5 年度) 評議員会

令和 5 年度第 1 回定時評議員会 令和 5 年 6 月 23 日(金曜日)

[評議員:9/9・理事長、常務理事、監事 1]

第 1 号議案 2022 年度 事業報告書(案)について

第 2 号議案 2022 年度 決算報告書(案)について

第 3 号議案 2022 年度 法人監査報告について

第 4 号議案 手形貸付根保証の期限延長について(R5.7.4 議案名訂正)

手形借入上限 1 億円の借入枠(期間 R5.7.1~R6.6.30)について

第 5 号議案 規程の変更について(給与規程第 8 条、第 16 条追記・第 6 章追加)

規程の変更について(パートタイマー就業規則第 3 条・第 16 条・第 45 条)

規程の変更について(旅費規程・役員及び評議員の報酬等に関する規程)

第 6 号議案 理事・監事の任期満了に伴う理事・監事選任について

令和 5 年度第 2 回評議員会 令和 5 年 11 月 17 日(金曜日)

[評議員:8/9・理事長、常務理事]

第 1 号議案 規程の変更について（就業規則…裁判員休暇の追加）

第 2 号議案 組織の変更について（総務部「課」「係」の変更)(総務部分散)

第 3 号議案 規程の制定について（新型コロナウイルス感染症対応特別有給休暇）

規程の制定について（車両管理規程）

令和 5 年度第 3 回評議員会 令和 6 年 3 月 22 日(金曜日)

[評議員:7/9・理事長、常務理事]

第 1 号議案 2023(令和 5)年度 予算の補正について

第 2 号議案 2024(令和 6)年度 事業計画書(案)について

第 3 号議案 2024(令和 6)年度 予算計画書(案)について

第 4 号議案 配食サービス事業の終了について

第 5 号議案 定款の変更について(公益事業内容の削除)

第 6 号議案 組織の変更について(居宅介護支援センターアザレアンの管轄)

●2023 年度 第三者委員会 [委員:3/3・理事長、常務理事]

令和 5 年度第 1 回第三者委員会 令和 5 年 7 月 18 日(火曜日)

[委員:3/3・理事長、常務理事]

苦情について 令和 5 年 3 月 17 日発生 05-01

令和 5 年度第 2 回第三者委員会 令和 5 年 10 月 31 日(火曜日)

[委員:3/3・理事長、常務理事]

事故報告(労災)

令和5年度第3回第三者委員会 令和6年1月31日(水曜日)

[委員:4/4・理事長、常務理事]

苦情について 令和5年12月25日発生 05-02

令和6年1月16日発生 05-03

事故報告(労災)

令和5年度第4回第三者委員会 令和6年3月29日(金曜日)

令和6年1月16日発生[05-03] 資料参照 経過報告

●2023年度 運営協議会

令和5年度第1回運営協議会 令和5年7月8日(土曜日)

[委員:10/15・理事長、常務理事]

報告事項1 2023年度 事業計画書について

報告事項2 2022年度 事業報告書について

報告事項3 地域貢献活動について

ご提案 等 意見交換

●2023年度の主な行事

4月3日(月) 運営会議・職員全体会議

4月21日(金) 運転手会議

4月24日(月) 経営会議・衛生委員会・総務部会議

4月26日(水) えぼし会 畑作業・花壇づくり

5月2日(火) 運営会議

5月8日(月) 新型コロナウイルス感染症 5類へ

5月11日(木) 職員の過半数代表者委員会

5月14日(日) 特養の入浴応援プロジェクト開始(第2、第4日曜日)

5月19日(金) 運転手会議

5月23日(火) 経営会議・衛生委員会・総務部会議

5月27日(土) 傍陽小学校運動会(萩曲尾グループホーム、萩の家招待)

5月28日(日) おすそ分け会

5月31日(水) ナーサリーさなだ園外保育

6月2日(金) 運営会議・令和5年度第1回理事会

6月10日(土) 地域清掃ハイキング・ふくシニア

6月16日(金) ナーサリーさなだ園外保育

6月22日(木) 運転手会議

6月23日(金) 経営会議・衛生委員会・総務部会議

令和5年度第1回(定時)評議員会・第2回理事会(書面)

6月26日(月) 防災訓練

- 7月 3日(月) 運営会議
- 7月 7日(金) 定期健康診断
- 7月12日(水) 介護労働安定センター雇用管理責任者講習会
- 7月18日(月) 令和5年度第1回第三者委員会
- 7月21日(金) 運転手会議
- 7月22日(土)～30日(日) 夏の交通安全やまびこ運動
- 7月24日(月) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 7月28日(金) 令和5年第3回理事会(書面)
- 7月31日(月) 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ支援加算 実績報告書(R4)
- 8月 4日(金) 運営会議
- 8月 6日(日) さなだ祭り
- 8月24日(木) ナーサリーさなだ実地指導・全事業所CM会議
- 8月25日(金) 経営会議・衛生委員会・総務部会議・運転手会議
- 9月 1日(金) ショートステイ縮小(3名)・総務部分散開始
- 9月 4日(月) 運営会議・職場いきいきアドバンスカンパニー認定授与式
- 9月11日(月) 寄贈福祉車両納車(奈良ニッサン)
- 9月12日(火) シルバー人材センター草刈りボランティア
- 9月14日(木)・15日(金)・20日(水) 消防設備点検
- 9月17日(日) 厨房棟ガスバルク移転工事(サイサン)
- 9月19日(火) 寄贈福祉車両お披露目会(福利厚生共済会様招待)
- 9月21日(木) 横尾サテライト・大畑サテライト 運営指導  
日本財団修繕箇所現地確認
- 9月22日(金) 運転手会議
- 9月25日(月) 経営会議・防災委員会・衛生委員会・総務部会議  
宮澤恒之さん(総務部運転手)ご逝去
- 9月28日(木) ボイラー保守点検・故宮澤恒之氏葬儀
- 10月 2日(月) 運営会議
- 10月 4日(水) さなだの福祉を考える会
- 10月20日(金) 令和5年第4回理事会
- 10月24日(火) 上田市独居高齢者用集合住宅 実地指導
- 10月25日(水) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 10月31日(火) 令和5年第2回第三者委員会
- 11月 1日(水) 拡大運営会議(令和5年度事業計画中間報告書)
- 11月 2日(木) 経営会議・雇用保険照合省略事業所事務講習会
- 11月10日(金) ストレスチェック(web)実施
- 11月15日(水) 介護請求ソフト(ほのぼのシリーズ)更新
- 11月17日(金) 令和5年度第2回評議員会 第1回施設保全係会議
- 11月21日(火) 実践報告会(運営協議会)
- 11月22日(水) 年金・健保委員研修会

- 11月24日(金) 運転手会議
- 11月29日(水) 簡易専用水道検査
- 12月 3日(日) おすそ分け会
- 12月 4日(月) 運営会議
- 12月 6日(水)・13日(水) 夜勤従事者健康診断
- 12月13日(水) 労務・安全衛生管理者講習会
- 12月15日(金) 看取り勉強会
- 12月20日(木) 長野県部落解放研究集会
- 12月25日(月) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 1月 4日(木) 新年神事(山家神社)
- 1月 5日(金) 運営会議
- 1月15日(月) 日本財団施設改修助成事業公示
- 1月20~24日 コロナウイルス感染対策 デイサービス閉鎖
- 1月25日(木) 経営会議(延期)1/30へ  
施設事業部地域密着型施設事業課横尾サテライト所属  
介護職員 西嶋俊弘さん ご逝去
- 1月26日(金) 運転手会議
- 1月27日(土) よろず講演会
- 1月30日(火) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 1月31日(水) 令和5年度第3回第三者委員会
- 2月 1日(木) 第2回施設保全係会議
- 2月 2日(金) 令和5年第5回理事会(配食サービス終了説明)
- 2月 5日(月) 運営会議(配食サービス終了決定)
- 2月 8日(木) ベンダー機能付自動販売機設置
- 2月21日(木) 運転手会議
- 2月26日(月) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 3月 4日(月) 運営会議・日本財団補助事業改修工事入札会
- 3月13日(水) 職員の過半数代表者委員会
- 3月15日(金) 令和5年度第6回理事会
- 3月21日(木) 運転手会議
- 3月22日(金) 令和5年度第3回評議員会  
ナーサリーさなだ 卒園式
- 3月25日(月) 経営会議・防災委員会・衛生委員会・総務部会議
- 3月29日(金) 令和5年度第4回 第三者委員会  
令和6年度 36協定(労基署)・消防計画書(消防署)提出
- 3月31日(日) 配食サービス事業終了



年度別職員状況確認表

R6.4.1現在 離職率=減少労働者(39)÷年初全労働者(233)×100=16.73  
 R5.4.1現在 離職率=減少労働者(28)÷年初全労働者(241)×100=11.61  
 R4.4.1現在 離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(242)×100=11.98  
 R3.4.1現在 離職率=減少労働者(44)÷年初全労働者(251)×100=17.52  
 R2.4.1現在 離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(251)×100=11.55

	常勤			非常勤			合計
	男	女	計	男	女	計	
R6.4.1	職員数	19	72	91	17	125	233
離職率	勤続年数	13.27	10.68	11.98	10.68	9.47	10.08
16.73	平均年齢	43.44	47.62	45.53	61.17	58.04	59.61
R5.4.1	職員数	23	75	98	19	124	241
	勤続年数	11.47	11.39	11.43	3.39	8.97	6.18
11.61	平均年齢	43.26	48.66	45.96	65.51	56.47	60.99
R4.4.1	職員数	25	80	105	19	118	242
	勤続年数	10.6	10.6	10.60	3.2	8.6	5.90
11.98	平均年齢	44.9	47.9	46.40	67.0	56.1	61.55
R3.4.1	職員数	32	86	118	18	115	251
	勤続年数	9.1	10.1	9.58	2.3	8.7	5.49
17.52	平均年齢	40.9	45.8	43.35	67.2	55.2	61.20
R2.4.1	職員数	32	97	129	15	107	251
	勤続年数	7.8	10.8	9.30	6.1	8.0	7.05
11.55	平均年齢	39.9	47.8	43.85	63.5	56.1	59.80
H31.4.1	職員数	34	102	136	15	102	253
	勤続年数	8.6	10.5	9.55	5.8	8.0	6.90
6.32	平均年齢	39.6	47.6	43.60	63.3	57.0	60.15
H30.4.1	職員数	36	103	139	12	105	256
	勤続年数	7.1	9.6	8.35	3.8	7.9	5.89
12.89	平均年齢	38.6	47.6	43.07	64.4	56.3	60.35
H29.4.1	職員数	34	103	137	11	106	254
	勤続年数	6.8	9.1	7.98	2.7	7.4	5.06
14.56	平均年齢	37.6	47.6	42.60	63.5	55.4	59.45
H28.4.1	職員数	31	101	132	9	109	250
	勤続年数	6.6	9.9	8.21	3.4	6.8	5.09
10.71	平均年齢	38.2	50.1	44.15	65.6	53.1	59.35
H27.4.1	職員数	30	110	140	10	102	252
	勤続年数	6.9	8.8	7.84	2.2	6.8	4.49
9.92	平均年齢	38.7	47.2	42.95	61.5	54.5	57.99
H26.4.1	職員数	29	106	135	9	103	247
	勤続年数	7.0	9.4	8.17	1.9	6.3	4.11
9.31	平均年齢	37.2	48.6	42.90	57.8	53.0	55.39
H25.4.1	職員数	25	113	138	5	93	236
	勤続年数	6.65	8.42	7.54	5.21	6.02	5.62
11.01	平均年齢	38.3	48.4	43.35	64.25	53.04	58.65

① 事業内容(2023 年度総括)

- (1) 施設維持(営繕)：各事業所見積もりのお手伝い、業者連絡と情報収集・交渉
- (2) 備品管理等：備品発注、見積もり、在庫確認、リース品の確認チェック
- (3) 対外的 P R の関する事項：ホームページ、パンフレット、商工会議所、Facebook 等  
記事、編集
- (4) 車両管理、運転手に関する事項：車両修繕、運転業務管理、事故報告の管理、車両管  
理等
- (5) 求人、職員募集に関する事項：各種説明会参加、宣材作成と配布、職場説明会の開催
- (6) 地域活動に関する事項：地域活動の参加、さなだ支え合い会議、にじいろカフェ等
- (7) 窓口業務に関する事項：業社来所者対応、郵便物管理
- (8) 勤怠管理に関する事項：時間外労働確認、事業所別勤怠確認、出退社の徹底、届けの  
徹底
- (9) 各種助成金に関する事項：国・県・市等公金助成金の申請と報告、助成金への応募・  
申請
- (10) 介護保険業務：請求業務に関する業務、打ち込み、郵送準備等
- (11) 災害対策業務：防災に関し非常食、災害用備品、防災協定の確認

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- (1) 90% (2) 60% (3) 80% (4) 80% (5) 70% (6) 100%  
(7) 100% (8) 90% (9) 90% (10)90% (11) 100%

業務の最大効率化を目指し総務部総務課として以下のような成果が主なものと考えます。

- (1) 現在の各機器や事務用品の更新等の際の費用抑制も兼ねた体制として、運転部門配食  
業務廃止に伴う「施設保全」業務が位置付けられ、各事業所からも好評を得ました。
- (2) 「人材不足」対策として法人として「外国人」特定技能実習生を執ることに舵を取  
り、準備を行いました。
- (3) 「長野県職場いきいきカンパニー」2 分野の認定を頂きました。法人として「子ども  
子育て職員応援企業」、「くるみんマーク」、「SDGz」取得や奨学金助成制度、企  
業所内保育所の整備により若い世代へのフォロー体制が整ってきていると思います。
- (4) 助成金として「価格高騰対策支援金」2 回、「コロナ感染症対策の助成金」一昨年度  
分も含め 2 回、「エネルギーコスト削減助成金」=LED 事業 1 回 (以上長野県とし

て) 施設改修工事助成金 (以上日本財団として) 総額 3000 万円を超える助成金を申請する事ができました。

### ③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

- (1) 営繕業務の幅広い依頼 (2) 在庫切れ時の連絡徹底 (3) 事故報告書提出の徹底
- (4) 車両維持への意識高揚の促進 (5) 新しい人材確保に向けた方針の検討
- (6) 地域貢献に関する職員参加の促進 (8) 勤怠管理効率化の検討

### ④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

- (1) 職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます  
新卒者を含めた職員のキャリアアップのための研修、資格取得の情報提供を行うと共に、中途採用者の研修体系の構築をしていきたいと思ひます。
- (2) 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます  
職員同士がご利用者様、ご家族とともに健康で安心して働ける職場環境の更なる充実を図っていききたいと思ひます。
- (3) 地域から信頼される関係を築きます  
地域行事等に積極的に参加できるよう働きかけます。  
真田地域の皆様に外国人実習生の受入れに関する理解を促進すると共に、新規採用者が獲得できるよう積極的な情報公開を行っていききたいと思ひます。

① 事業内容(2023 年度総括)

- 1.通所介護事業・短期入所事業送迎
- 2.配食サービス事業(配達・安否確認等)
- 3.車両管理(法人所有・リース)
- 4.運転手研修
- 5.車両維持管理(定期点検・整備・保険等)
- 6.施設維持管理
- 7.物品、備品修繕

2023 年度は過去にとらわれず、一步踏み込んで確実性及びスキル向上を目指し、10 月からは施設保全係として事業所全体のサポートを総務部全体として取り組んできました。

取り組みにあたっては個々の特性を発揮できるように考慮し、仕組み作りの構築を図ってまいりました。職員の変革が必要となることから、受け入れて頂くことは容易ではなかったと思います。

2024 年度に向けての土台作りを中心に努めました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

1… 85%

利用者様にご迷惑をかける事故がありましたが、概ね問題なかったと思われます。

2… 80%

マニュアルに反した方法で混乱を招く事案があり、関係各所へご迷惑をかける結果となりました。

3…100%

問題なく業務遂行できました。

4…75%

事件事案での考察及び情報共有を行うことで交通事故減少に向けて行ってきました。引き続き状況に合わせて継続していきます。

5…100%

問題なく業務遂行できました。

6…75% 7…75%

総務部全体で、できることから可能な限り進めることができたと感じています。費用面や人員面で厳しいものについては残念ながら先送りになっています。

③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

- ・運転業務において、法令順守していないと思われる事案が確認できました。  
(ドライブレコーダー映像での確認済。)

目標課題を明確にして、改善されるように情報共有を図ります。

- ・各事業所と検討した事項については遵守して頂くようしはたらきかけます。  
(原則、遵守事項を個々の判断で勝手に変更しない。)
- ・専門性の高い業務は対応できる人員に限られるため、状況によっては外注依頼で対応することも検討していきたいと思います。
- ・配食業務終了に伴い、業務内容が送迎業務と施設保全業務が中心となります。どちらの業務も法人として必要な業務であることから、積極的に業務に協力して頂きたいと考えます。

#### ④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

##### 1、職員一人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)

- ・送迎従事者の個人差の統一化を図り、利用者様に格差を感じさせないようにサービスを提供していくことに努めていきます。
- ・職員一人ひとりの得意分野を活かした人員配置を行い、施設保全のサポートに貢献して頂けるように土台作りを行っていきます。

##### 2、「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組めます。(サービスの質の向上)

- ・送迎、施設保全、備品管理を見直し、利用者様への満足度が高めていけるように努力していきたいと思います。
- ・職員への連絡を密にし、急な業務変更や施設保全業務について、協力していける体制づくりを構築していきたいと思います。

##### 3、地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)

- ・譲り合い(横断歩道での譲り合いなど)の運転を心掛け、地域の皆様から信頼されるようにしていきたいと思います。
- ・積極的に地域活動に参加してもらえよう情報提供を行い、地域の方々との交流を深めていきたいと思います。

① 事業内容(2023 年度総括)

- (1) 月次試算表の作成
- (2) 決算書の作成
- (3) 財務諸表等電子開示システムの登録
- (4) 資金繰り
- (5) 買掛金（業者支払）支払業務
- (6) 各種サービス利用料口座振替手続き
- (7) 理事会・評議員会 会計報告書 作成
- (8) 最終予算計画書の作成

正確でミスのない処理を目指して取り組んできました。

担当者と検印者のダブルチェックにより正確な処理ができました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- (1) 毎月の経営会議に月次試算表を提出することができました。 100%
- (2) 決算書の作成は、会計事務所との打ち合わせをしっかりとやり、お互いの作業を分担し、最終的に会計事務所のチェックで決算書を作成することができました。100%
- (3) 財務諸表等電子開示システムの登録は、会計ソフトからデータ出力による機能を活用できず、手入力の作業もあり時間を要してしまいました。 90%
- (4) 資金繰りは、金融機関の手形根保証枠を利用し、運転資金の調達により安定を図ることができました。 100%
- (5) 買掛金（業者支払）支払業務は、月末の業者支払が中心であり、各事業所からの納品書に基づく入力事務、請求書との照合、支払事務（振込処理）も役席の検印により正確な事務処理ができました。 100%
- (6) サービス料等口座振替は、介護サービス料の口座振替事務が中心であり、介護請求データから各金融機関のデータを作成し、担当者の事務処理、役席の検印後のデータ伝送により正確な事務処理ができました。 100%
- (7) 理事会・評議員会に間に合うよう会計報告書を作成できました。 100%
- (8) 令和6年度予算において、常務理事、各事業所の部長・課長と打ち合わせ、協議の上予算書を作成することができました。 100%

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- (1) 会計ソフトと財務諸表等電子開示システムへのスムーズな登録。

- (2) 介護保険請求事務と会計処理の効率化。
- (3) 会計ソフト入力の為の作成資料の検討。
- (4) 固定資産台帳の整理。

#### ④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

- 1.職員 1 人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)  
的確な対応がとれるよう専門知識の向上を目指す。
- 2.「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。  
(サービスの質の向上)  
法人内での役割を認識し、各事業所との連携・協力を強化し、ご利用者様・ご家族に満足いただけるサービスを提供します。
- 3.地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)  
法人の窓口として、高い倫理観を持ち、親切・丁寧に対応します。  
地域行事に積極的に参加し、交流を図り、アザレアンさなだの事業を理解していただきます。

○事業所名

施設事業部（特別養護老人ホーム、短期入所、サテライト型居住施設、横尾サテライト、栄養管理、真田グループホーム、萩・曲尾グループホーム、下原グループホーム、菅平グループホーム、菅平グループホーム認知症対応型通所介護）

施設事業部の中心である特別養護老人ホーム、サテライト型特養（大畑、横尾）グループホーム 4 事業所では生活をささえながら、より“その人らしく生きる”ことを支援してきました。また、短期入所、認知症対応型通所介護はご自宅での生活を中心としている中の一部として支援してきました。

1. 全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします。

計画では面接の実施を掲げていましたが、実際には課題が明らかになっている職員との面接を行うだけに留まりました。個別目標カードの提出は 100%ありました。個々のモチベーションがあげられるような目標設定を掲げられるようにしていきたいと考えていましたが、中には目標設定が低い職員もいました。そこは面接で一つ上の目標にするのが狙いの一つでもありました。

2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組めます。

“生ききる”支援を取り組んできました。最後までその人らしさをどうやって引き出すか、専門職を中心に、介護・看護が直接的なケアに当たりチームとなって取り組むことが出来ました。職員同士の連携はスムーズに行われ、ご家族も含めた最後の支援が出来ました。

3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します。

地域とのつながりとしては在宅サービス事業所が中心となる計画でした。しかし、2023 年 9 月にショートステイの稼働を 21 床から 3 床まで下げなければならない状況となってしまいました。ご利用者様、ご家族様にとっては慣れ親しんだ事業所が利用できなくなるということで大変ご迷惑、ご不便をおかけしています。来年度はベッド数の稼働を上げられるよう、職員教育、育成に力を入れていきたいと考えています。

また、地域密着型の事業所は運営推進会議の開催を定期的に行うことができ、地域の皆様と顔のつながりが出来ました。社会福祉士養成の一環で実習生を受け入れ運営推進会議にも参加し、職員では聞けない話が出るなど新たな発見をすることが出来ました。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

2023 年度は、ショートステイの床数の減少、大畑サテライトでの新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生、配食弁当の中止等、変動の一年であり、様々な経験をする事ができた一年でした。そんな中でも、多職種で協働した事で特養、ショートステイ、大畑サテライト、横尾サテライト、それぞれの事業所の目標は概ね達成できました。年間稼働率を見れば、特養：98%、ショートステイ：約 49.9%(9 月より床数減少)、大畑サテライト：約 98.2%、横尾サテライト：91.7%でした。ショートステイを除くすべての事業所で 90%以上だったことは、介護職による日頃のケアの質の高さと、状態変化に合わせて多職種が密に連携し、早期にケア内容を検討できているため、入居から最期まで施設でしっかりとケアができた結果だと感じています。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

1. 法人の理念・スローガンを定着するために・・・70%  
・各ユニット会議や、施設会議の中で法人の運営理念、スローガンの復唱を行う事ができました。
2. 新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします・・・80%  
・会議などを通して自分の発言を伝えられる機会を作ることができました。また看取りの研修等個々のスキルアップの機会を持つこともできました。
3. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます・・・80%  
・関わりの声掛けを大切にし、ご利用者様一人ひとりと向き合う事ができました。
4. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します・・・50%  
・大畑サテライト、横尾サテライトは運営推進会議を実施し、地域住民の方に事業を知っていただく機会を作ることができました。一方で、ショートステイの規模縮小、配食サービス中止等、地域での生活を支えていく事に課題が残ってしまいました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

職員が安心して働いていけるような情報共有の仕組みや、人員不足の状況もあり技能実習生の受け入れを行っていくため、職員の定着支援を行ないます。稼働率は維持できるように、エビデンスに基づいたケアを継続します。

### ④ 目標とする事項(2024 年度 事業計画)

多職種協働し、「その人らしく生ききる」事を支援します。慢性的な人材不足もある中で、人材確保、人材育成及び離職率の低下を目指します。

① 事業内容(2023 年度総括)

利用者様の生活を支え、最期までその人らしく「生ききる支援」を課題に挙げて、取り組むことができました。

職員にとっての働きやすい職場、ワークバランスが取れる環境作りをめざしていましたが、職員の退職者が重なり目標を達成することが出来ませんでした。

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

1, すべての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします…70%

・ユニット会議やカンファレンスを定期的に行い、利用者について職員同士で意見交換を行うことができ、ケアの統一がはかれました。

2, 優しさに包まれた介護・支援に取り組めます…50%

・利用者の変化に気付き、専門職へ繋げて安心して生活できるように努めました。又誕生日会や季節行事を行い、職員と共に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

3, 地域の一員として繋がり、地域に貢献していきます…50%

・地域で安心して暮らせる事業所を目指してきましたが、人員不足の為ショートの稼働を減らしてしまったことで信頼を失ってしまった。

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

・まずは職員とのコミュニケーションを密にし、働きやすい職場作りと職員育成を行い、職員定着を目指していきたいです。

④ 目標とする事項（2024 年度 事業計画）

・職員が定着し、ショートの稼働を増やしていき、地域の方に頼れる事業所を目指していきたいです。

・研修や勉強会に参加をし、エビデンスに基づいたケアを行えるように努めていきます。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

事業目標として「ご利用者様の体調変化に気づき利用率に繋げる」「スタッフの体調管理」「業務内容について検討する機会の増加」を設定しました。

利用率に関しては 98%を超えることができました。ご利用者の日々の変化に対して早期に対応が出来た事で入院者も少なく、利用率に繋げることが出来たのだと思います。

スタッフの体調管理に関しては風邪やコロナ感染といった体調不良者は出ましたが、ご利用者への感染はありませんでした。引き続きスタッフ自身の体調管理に努めます。

業務内容については月 1 回のユニット会議で話し合いの機会を持ち、その他に検討事項が出た場合は係長や専門職に挙げて検討する事ができました、

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

法人の運営理念、スローガンを定着するために・・・70%

申し送り前の復唱は難しく達成できませんでしたが、会議前の復唱は毎回行うことができました。

全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします・・・70%

ユニット会議や日々の業務中など発言の機会を増やすことができました。

優しさに包まれた介護・支援に取り組みます・・・60%

人員不足のなか、ご利用者様への関わり方が不適切にならないように努めました。

地域の一員として繋がり、地域に貢献します・・・50%

面会に来られた家族の方と接する機会が増えました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

ご利用者様への言動に関して注意し合えなかった場面がありました。職員間で注意し合う事は、それぞれの立場によって難しい事なので、係長から注意する事を基本に、不適切な言動が無いように、職員全体で話し合いの機会を持っていきます。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・職員 1 人ひとりがチーム内の役割と目標を定めていく
- ・「受容」と「共感」を大切にし、ご利用者様が気持ちよく生活できるように努める
- ・来所されたご家族様や外部機関の方々への挨拶をしっかりと行い、地域で良い印象をもって頂けるようにする

1 特別養護老人ホームアザレアさなだ 事業報告

(1) 入居者の状況 ① 年齢別

2024年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢	
男性	0	1	1	4	6	29	89.50	90.45
女性	0	1	7	15	23		90.70	
合計	0	2	8	19				

\* 最高齢 男性 95 歳 最年少 男性 77 歳  
女性 100 歳 女性 78 歳

(2) 入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2024年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間 (日)	平均在所期間 (年)
真田町	男性	1						1	2	20	2673	7.32
	女性	3	5	3	1	2		4	18		1447	3.96
上田市	男性	2		1					3	8	338	0.92
	女性	2	1	1				1	5		880	2.41
東御市	男性		1						1	1	625	1.71
	女性								0		0	0.00
長和町	男性								0	0	0	0.00
	女性								0		0	0.00
合計	男性	3	1	1	0	0	0	1	29		1212	3.3
	女性	5	6	4	1	2	0	5			1164	3.2
合計		8	7	5	1	2	0	6				

(3) 入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2024年3月31日 現在

		2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性					1								1	4
	女性						1		1				1	3	
上田市	男性							1			1			2	5
	女性		1					1				1		3	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	9
	女性	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	6	
合計		0	1	0	0	1	1	2	1	0	1	1	1	9	

## (4) 退居者の状況

## ④ 入所市町村別、退所状況

2024年3月31日 現在

		2019年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性							1						1	6
	女性				1	1		1				1	1	5	
上田市	男性							1						1	3
	女性	1									1			2	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性												1	1	1
	女性													0	
合計	男性	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3	10
	女性	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	7	
合計		2	0	0	2	2	0	6	0	0	2	2	4	10	

## (5) 日常生活動作の状況

2024年3月31日 現在

入浴		人数	食事		人数	排泄			人数	
自分で可能	0	0	自分で可能	10	昼間	便所	自分で可能	3		
							一部介助	9		
一部介助	2	一部介助	4	ポータブル		自分で可能				
						一部介助	1			
全面介助	28	全面介助	16	オムツ使用		17				
合計	30	合計	30	合計		30				
移動		人数	着脱		人数	排泄			人数	
自分で可能	4	4	自分で可能	1	夜間	便所	自分で可能	1		
							一部介助	3		
一部介助	3	一部介助	6	ポータブル		自分で可能	2			
						一部介助	2			
車イス自力移動	4	全面介助	23	オムツ使用		22				
車イス全介助	19									
合計	30	合計	30	合計	30					
									パウチ・カテーテル使用者	5

(6) 面会、外出、外泊回数状況

① 利用者に対する面会回数別分布

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
0回	22	15	16	16	21	21	20	23	15	17	20	21	227	18.9
1回	7	14	10	7	4	8	10	3	10	10	10	7	100	8.3
2～5回	0	0	3	6	4	1	2	4	5	2	0	2	29	2.4
6～11回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4	0.3
12回以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

② 月別面会

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会件数	7	14	16	21	21	10	14	11	21	30	16	17	198	16.5
面会人数	7	14	16	30	42	21	28	18	43	69	26	35	349	29.1
定員	29	29	29	29	29	30	32	30	30	31	31	31		
外出数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0
外泊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0

※定員は入退居者数の合計

(7) 入浴状況

① 個浴

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	5	5	5	5	5	4	4	3	3	3	3	3	48
清拭延人数	5	8	0	3	9	4	7	5	6	0	4	3	54
入浴延人数	35	33	40	38	31	28	25	20	18	24	20	21	333
1週1人当たり回数	2.00	2.05	2.00	2.05	2.00	2.00	2.00	2.08	2.00	2.00	2.00	2.00	2.02

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	14	14	13	13	13	14	14	15	14	14	15	14	167
清拭延人数	12	3	2	3	4	2	0	9	3	5	10	4	57
入浴延人数	100	110	110	101	100	110	112	112	110	107	110	109	1291
1週1人当たり回数	2.00	2.02	2.15	2.00	2.00	2.00	2.00	2.02	2.02	2.00	2.00	2.02	2.02

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	11	11	12	12	12	12	12	12	13	13	12	13	145
清拭延人数	8	7	6	8	12	10	13	14	10	9	7	6	110
入浴延人数	80	82	90	89	84	86	85	82	95	97	89	98	1057
1週1人当たり回数	2.00	2.02	2.00	2.02	2.00	2.00	2.04	2.00	2.02	2.04	2.00	2.00	2.01

2022年度 特 養 実 績 (目標稼働率:長期 98.00% 大畑サテ 95.00% 横尾 98.00% ショート 98.00%)

	4月				5月				6月				7月				98.51%	99.52%
	特養	横尾	大畑	短期ショート	特養	横尾	大畑	短期ショート	特養	横尾	大畑	短期ショート	特養	横尾	大畑	短期ショート		
平均要介護度	4.4	4.3	4.3	2.9	4.4	4.3	4.4	2.9	4.3	4.3	4.4	2.8	4.4	4.3	4.3	2.8		
要介護1	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	4		
要介護2	0	0	0	8	0	0	0	10	1	0	0	11	0	0	0	11		
要介護3	3	90	1	30	4	115	1	31	14	185	3	30	14	133	4	124		
要介護4	11	289	5	150	6	175	4	69	300	5	155	5	150	5	155	6		
要介護5	16	471	4	120	5	150	4	71	300	5	155	6	175	5	155	6		
外泊																		
入院	3	46	0	1	2	10	0	0										
入居者	1	4月13日			1	5月10日							1	6月16日				
退居者													1	6月30日				
利用率	94.44%	100.00%	100.00%	107.78%	97.96%	100.00%	100.00%	103.87%	95.16%	100.00%	98.61%	98.00%	99.03%	100.00%	95.97%	103.87%		
前年度利用率	96.67%	83.67%	100.00%	88.67%	99.03%	91.61%	99.19%	84.30%	100.00%	90.00%	95.28%	114.44%	97.74%	98.99%	88.98%	125.16%		
前年比	-2.22%	16.33%	-1.39%	19.11%	-1.08%	8.39%	0.81%	19.57%	-4.84%	100.00%	3.39%	-16.44%	1.29%	1.61%	6.99%	-21.29%		
	8月				9月				10月				11月				96.35%	98.41%
平均要介護度	4.4	4.3	4.3	2.9	4.4	4.3	4.4	2.8	4.3	4.3	4.5	2.7	4.3	4.3	4.5	2.6		
要介護1	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	7	0	0	0	10		
要介護2	0	0	0	7	0	0	0	11	0	0	0	13	0	0	0	10		
要介護3	4	124	1	31	4	120	1	30	12	123	4	124	1	31	1	15		
要介護4	11	341	5	155	6	175	4	126	351	5	155	5	135	4	40	120		
要介護5	15	465	4	124	5	155	5	41	434	4	124	7	199	7	66	120		
外泊																		
入院																		
入居者																		
退居者																		
利用率	100.00%	100.00%	100.00%	109.46%	99.89%	100.00%	100.00%	88.00%	97.74%	100.00%	91.67%	110.75%	95.33%	100.00%	95.83%	106.00%		
前年度利用率	99.03%	86.39%	88.44%	102.80%	99.44%	100.00%	97.78%	99.56%	99.68%	96.45%	97.04%	118.06%	99.11%	95.67%	90.83%	108.89%		
前年比	0.97%	1.61%	8.60%	6.67%	0.44%	0.00%	2.22%	-1.56%	-1.94%	3.55%	-5.38%	-7.31%	-3.78%	4.33%	5.00%	-2.89%		
	12月				1月				2月				3月				98.26%	99.90%
平均要介護度	4.3	4.3	4.4	2.9	4.3	4.3	4.4	2.8	4.3	4.5	4.3	2.7	4.3	4.5	4.3	2.7		
要介護1	0	0	0	5	0	0	0	8	0	0	0	8	0	0	0	8		
要介護2	0	0	0	7	0	0	0	8	0	0	0	9	0	0	0	9		
要介護3	4	124	1	31	4	124	1	31	2	62	14	157	3	84	7	97		
要介護4	14	387	5	155	3	93	4	70	397	5	155	3	84	5	58	147		
要介護5	13	403	4	124	7	217	4	54	396	4	111	7	164	5	138	186		
外泊																		
入院																		
入居者	2	12月16日			1	1月16日												
退居者	1	12月19日			2	1月10日												
利用率	95.28%	100.00%	100.00%	91.18%	98.60%	95.81%	100.00%	98.92%	100.00%	96.43%	98.81%	105.24%	97.85%	97.42%	100.00%	116.90%		
前年度利用率	100.00%	92.90%	83.33%	125.59%	95.05%	100.00%	84.14%	106.02%	97.98%	100.00%	88.99%	113.57%	96.02%	100.00%	82.53%	113.12%		
前年比	-1.72%	7.10%	16.67%	-34.41%	3.55%	-4.19%	15.86%	-7.10%	2.02%	-3.57%	9.82%	-8.33%	1.83%	-2.58%	17.47%	3.79%		

### ① 事業内容(2023 年度総括)

ショートステイでは在宅で生活されているご利用様が短期間宿泊して生活をしていただく事業所です。ご自宅で介護されているご家族様にとってはレスパイトを目的としてご利用されるケースが非常に多い事業所となります。短期間の宿泊で生活上の援助、服薬の管理、身体的なケアが中心となりサービスの提供を行っています。

2023 年度は職員の退職が重なり事業所の運営が難しい状況になり、苦渋の選択ではありましたが 21 床の受け入れから 3 床まで稼働を落とさざるを得ない状況になってしまいました。定期的にご利用されているご利用者様、ご家族様にとってはサービス事業所の選択肢が狭まれ、お困りになったのは言うまでもない状況でした。さらに介護支援専門員、他事業所のショートステイや訪問介護、訪問看護、主治医まで様々な方々のご協力をいただき、2023 年度を締めくくることになりました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

『2022 年度では新型コロナのクラスターを 2 度経験し、隔離生活がご利用者様と職員に想像以上のダメージを与えました。そのため職員の体調管理と感染予防の徹底を図り体験や情報の共有の場としてユニット会議の開催の重要性を認識し、これを徹底していきたいと思えます。』…50%

9 月 1 日からショートステイを 3 床の稼働としたため、職員は他のユニットで業務を行うこととなりました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

職員の退職が相次ぎ、機能維持が出来なくなり課題が山積しました。職場環境の改善、職員教育の見直し、業務内容の再構築等細部にわたり考え直す機会となりました。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

『人員の確保と定着を目指し、利用定員を一人でも増やしていく。』

『緊急ショートを受け入れや特養の空床を減らすためにも長期間のショートを受け入れスムーズな移行が出来る』

2023 年度は 3 床から 15 床まで受け入れを伸ばしていくことが目標です。3 床に減少した状況の中でもアザレアンのショートステイと言っただけのご利用者様、ご家族様にとって一日でも早く稼働を上げていきたいです。

### ① 事業内容 (2023 年度総括)

施設内・在宅において多様化するニーズ（健康状態・嗜好）に合った食事サービスの提供に努めました。安心・安全な食事、献立作りに取り組み、給食会議での提案等やご利用者様の意見・要望を反映し、より楽しみのある食事時間を過ごせるよう工夫することに努めてきました。

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

知識と経験について自らが自信を持って、調理、盛り付け時の工夫等に取り組める意識の定着に努めました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組めます

各事業所との情報共有・連携を図り、嗜好や状態に合わせた食事形態、盛り付け等、寄り添った食事提供の支援をしました。

#### 3. 地域の職員として繋がり、地域に貢献します

在宅支援での情報提供・共有等関係者との連携を図り、配食時の注意点等周知、季節ごとの注意喚起等、身近な存在となれることを目指しました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・安心・安全な食事提供…〔95%〕食中毒予防・感染症予防と対策や食材の仕入れ・取扱い注意、異物混入防止、食形態・配膳間違い防止等次年度継続します。
- ・役割を理解し各事業所との連携に努めます…〔100%〕配食サービスの安否確認の様子から日々の状況変化についてケアマネ、関係者と情報共有し理解を深めました。
- ・利用される方も私たちが笑顔になれる食事提供…（90%）献立・調理に工夫し、より楽しめる食事時間をイメージしました。次年度も継続します。

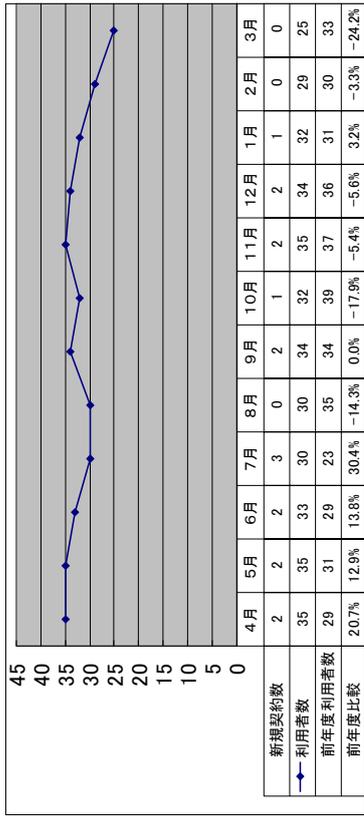
### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・各事業所との情報共有・連携
- ・設備の老朽化について計画的な整備

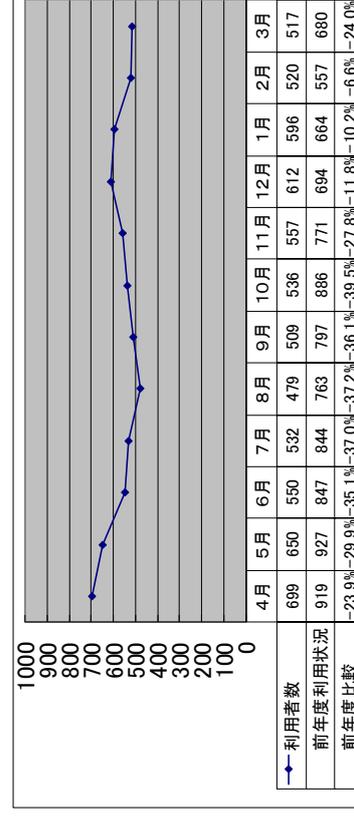
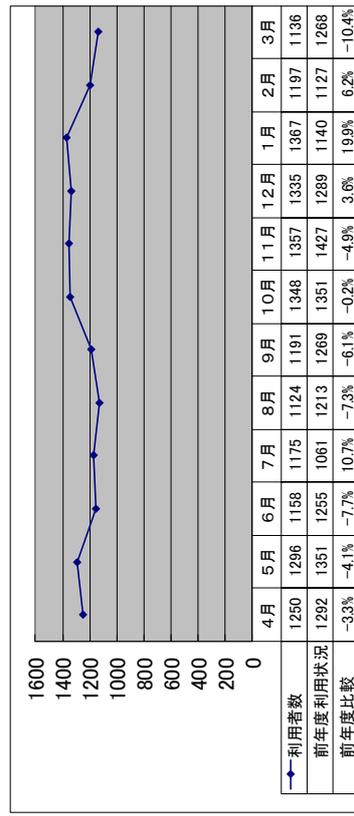
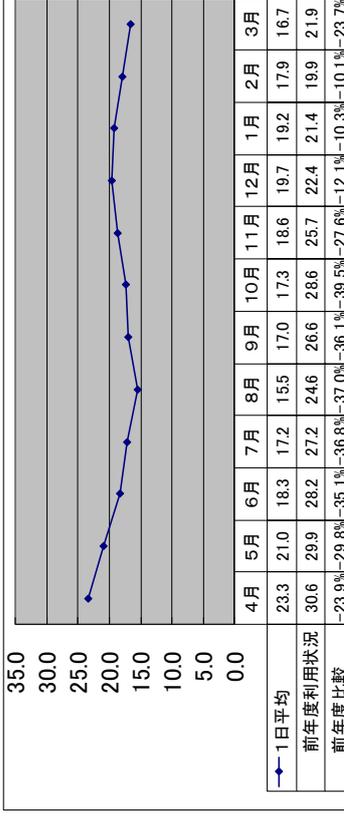
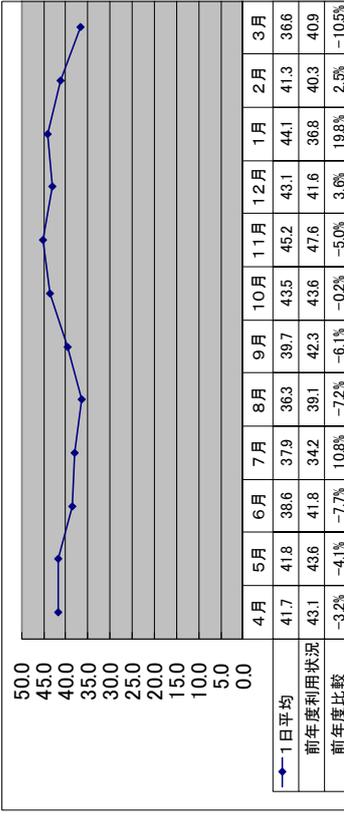
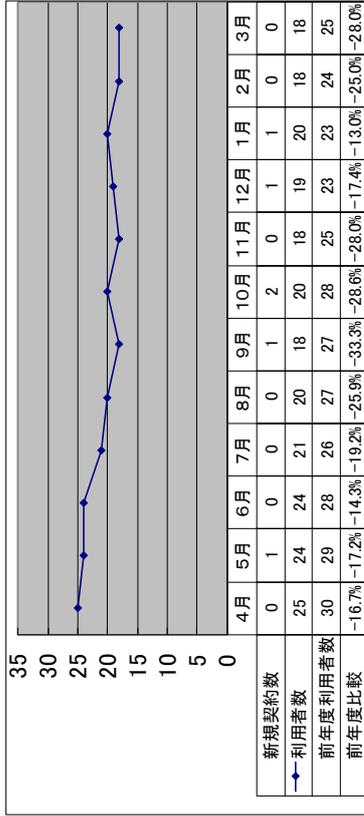
### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・各事業所との情報共有・連携を図り、ご利用者様に寄り添った食事環境の支援が出来るように努めます。
- ・情報共有と持続を心掛け、誰が調理しても一定の食事が提供できるよう意識と技術の統一を図ります。
- ・安心・安全な食事提供を継続します。

令和5年度アザリアンさなだ配食個人契約年間利用者集計表



令和5年度上田市真田町配食サービス事業年間利用者集計表



2023年度で配食事業終了

### ① 事業内容(2023 年度総括)

地域密着型事業課は「大畑サテライト」「横尾サテライト」の2事業課になります。ご利用者様の終の棲家として生活を支え、最期までその人らしく生きる支援をしています。職員定着、ワークライフバランスが取れるような環境作りに努めました。

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

職員一人ひとりが自発的に意見話し合い、問題解決する事で仕事への意欲向上し、レベルアップにも繋がりました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組めます

ご利用者様一人ひとりの個別ケアを提供出来ており、安心した楽しい日々を送ることが出来るような支援を具体的に取り入れ、良いケアの提供に努めました。

#### 3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

運営推進会議の実施の再開。

ご利用者様のご家族、外部の方々の来訪につき、正しい立ち振る舞いに努めました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・法人の運営理念・スローガンの定着するために・・・ [70%] 唱和する機会を増やし、又目に付く所に掲示する事での意識付けができました。
- ・事業所目標・利用率・・・大畑サテライト [98%] 横尾サテライト [92%] 職員間、多職種と連携する事で体調管理に努め、変化や異常に気づき早期発見・対応する事が出来ました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・職員の楽しくやりがいのある職場を考え、リサーチしながら環境作りに努める。新しい事（催し物の企画、研修への参加等）へのチャレンジの機会の提供しレベルアップを図ります。
- ・職員個々の抱えている問題に対するアプローチ（面接等）。
- ・地域活動への参加、地域交流。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・更なる法人の運営理念・スローガンの定着を図ります。
- ・ご利用者様の健康管理に努め、職員間・多職種との連携、エビデンスに基づいたケアの提供により利用率の安定を図ります。
- ・職員全員の意見を基に作成した具体的な行動計画を共通認識とし目標達成に努力します。
- ・地域活動への積極的な参加と地域交流。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

横尾サテライトは、①ご利用者様の体調の変化や異常に気づき早期発見・早期対応に努める。②情報の共有を行い最善のケアを考える。③多職種を含めた職員間の信頼の構築に努める。この3点を重点目標に職員一丸となり業務を遂行しました

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

職員間で多くの情報共有し、各自の考え・意見を現場に取り入れる事で、様々な結果が得られ自信に繋がり又、達成感を感じる事が出来るよう行動しました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

ご利用者様一人ひとりの個別ケアに目を向け、安心した楽しい日々を送ることが出来るよう具体的に意見を取り入れ、良いケアの提供をしました。

#### 3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

運営推進会議の実施の再開をしました。

ご利用者様のご家族、外部の方々の来訪につき、正しい立ち振る舞いに努めました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・法人の運営理念・スローガンの定着するために・・・ [70%] 唱和する機会を増やし、又目に付く所に掲示する事での意識付けができました。
- ・事業所目標・利用率・・・ [92%] 職員間、多職種と連携する事で体調管理に努め、変化や異常に気づき早期発見・対応する事ができました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・新しい事(催し物、研修等)へのチャレンジの機会の提供。
- ・職員個々の抱えている問題に対するアプローチ(面接等)。
- ・地域活動への参加、地域交流。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・更なる法人の運営理念・スローガンの定着を図ります。
- ・ご利用者様の健康管理に努め、職員間・多職種との連携、エビデンスに基づいたケアの提供により利用率の安定を図ります。
- ・職員全員の意見を基に作成した具体的行動計画を共通認識とし、目標達成に邁進します。

1 アザレアンさなだ横尾サテライト 事業報告

(1) 入居者の状況 ① 年齢別

2024年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢
男性	0	1	2	1	4	10	83.00
女性	0	1	3	2	6		86.80
合計	0	2	5	3			84.50

\* 最高齢 男性 94 歳 最年少 男性 72 歳  
女性 95 歳 女性 74 歳

(2) 入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2024年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間 (日)	平均在所期間 (年)
		真田町	男性	2						1	3	8
女性	2	1	1					1	5	1154	3.16	
上田市	男性	1							1	2	260	0.71
女性				1					1		926.5	2.54
合計	男性	3	0	0	0	0	0	1	10		685	1.88
女性	2	1	1	1	0	0	1	1			1040	2.85
合計		5	1	1	1	0	0	2				

(3) 入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2024年3月31日 現在

		2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	小計	合計
		真田町	男性						1	1					
女性	1						1					1	3		
上田市	男性									1			1	2	2
女性													0		
合計	男性	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	4	7
女性	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	
合計		1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	2	7	

(4) 退居者の状況 ④ 入所市町村別、退所状況

2024年3月31日 現在

		2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	小計	合計
		真田町	男性												
女性	1	1				1	1		1			1	6		
上田市	男性										1			1	1
女性													0		
合計	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	7
女性	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	6		
合計		1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	7	

(5) 日常生活動作の状況

2024年3月31日 現在

入浴	人数	食事	人数	排泄		人数	
自分で可能	0	自分で可能	3	昼間 ポータブル	自分で可能	0	
					一部介助	3	
一部介助	1	一部介助	2		自分で可能	0	
					一部介助	0	
全面介助	9	全面介助	5		オムツ使用	7	
合計	10	合計	10	合計		10	
移動	人数	着脱	人数	排泄		人数	
自分で可能	0	自分で可能		夜間 ポータブル	自分で可能	0	
					一部介助	0	
一部介助	1	一部介助	2		自分で可能	0	
					一部介助	2	
車イス自力移動	2	全面介助	8		オムツ使用	8	
車イス全介助	7						
合計	10	合計	10	合計		10	
						パウチ・カテーテル使用者	2

(6) 面会、外出、外泊回数状況

① 利用者に対しての面会回数別分布

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
0回	8	4	4	3	6	6	7	7	8	7	7	4	71	5.9
1回	3	5	4	6	1	2	2	2	1	3	1	4	34	2.8
2～5回	0	1	1	0	2	3	2	1	2	0	1	2	15	1.3
6～11回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12回以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

② 月別面会

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会件数	3	7	6	6	6	11	6	4	4	3	5	10	71	5.9
面会人数	6	22	14	13	13	17	14	7	12	11	9	16	154	12.8
定員	11	10	9	9	9	11	11	10	11	10	9	10		
外出数	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0.3
外泊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※定員は入退居者数の合計

(7) 入浴状況

① 個浴

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	2	2	2	2	2	2	4	4	3	2	2	2	29
清拭延人数	8	7	3	1	4	9	5	3	4	3	5	3	55
入浴延人数	8	10	14	15	13	8	27	29	20	14	11	14	183
1週1人当たり回数	2.00	2.13	2.13	2.00	2.13	2.13	2.00	2.00	2.00	2.13	2.00	2.13	2.06

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	7	7	7	6	6	6	5	5	6	7	7	5	74
清拭延人数	7	5	3	4	5	6	5	7	6	5	7	5	65
入浴延人数	50	51	53	45	43	43	36	33	42	52	49	35	532
1週1人当たり回数	2.04	2.00	2.00	2.04	2.00	2.04	2.05	2.00	2.00	2.04	2.00	2.00	2.02

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
清拭延人数	3	0	3	0	0	3	2	1	1	2	3	3	21
入浴延人数	5	8	6	8	8	5	6	8	7	6	5	5	77
1週1人当たり回数	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.00	2.00	2.04

① 事業内容 (2023 年度総括)

事業所目標として、『入院者の減少、空床をつくらないようにし、稼働率 95%を目標します』と設定しました。

目標を達成するために、ご利用者様の身体状況の変化に注意し、細めな安否確認や異常の早期発見、多職種連携に努めました。

2023 年度は入院者も少なく稼働率 98%であり、目標を達成することができました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率 (数値) 及び成果について

- 1.法人の理念・スローガンを定着するために・・・・・・・・・・・・・・70%
  - ・理念、スローガンを『見る、聴く、言う』、職員一人ひとりが常に意識できる環境作り
- 2.新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします・・・・・・・・・・・・80%
  - ・報、連、相を確実に行った上で、自身で考え行動します
  - ・自身のスキルアップやキャリアアップを目指します
- 3.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます・・・・・・・・・・・・・・80%
  - ・傾聴を大切にし、ご利用者様としっかり向き合います
- 4.地域の一員として繋がり、地域に貢献します・・・・・・・・・・・・・・70%
  - ・地域行事への参加や運営推進会議や回覧板を活用し、顔の見える関係作りを進めます

③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

ご利用者様に対するケアや言葉遣いが雑になってしまっていることがありました。それぞれが自身を見つめ直し、ご利用者様が安心・安全な幸せな日々を送ることができるよう支援に努めます。

④ 目標とする事項 (2024 年度 事業計画)

- ・自身の知識や技術の向上に努め、より質の高いサービスを提供します
- ・ご利用者様に喜んで頂けるような行事等を多職種で協働し、実施します
- ・地域の方々にアザレアンさなだの取り組みについて知って頂き、より良い信頼関係の構築を目指します

1 アザリアンさなだサテライト型入居施設（大畑サテライト）事業報告

(1) 入居者の状況 ① 年齢別

2024年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢	
男性	0	0	1	3	4	12	93.25	93.17
女性	0	1	1	6	8		93.13	
合計	0	1	2	9				

\* 最高齢 男性 100 歳 最年少 男性 88 歳  
女性 104 歳 女性 75 歳

(2) 入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2024年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間 (日)	平均在所期間 (年)
真田町	男性	3			1				4	12	507	1.39
	女性		4	3	1				8		702	1.92
上田市	男性								0	0		0.00
	女性								0			0.00
合計	男性	3	0	0	1	0	0	0		12	507	1.39
	女性	0	4	3	1	0	0	0			702	1.92
合計		3	4	3	2	0	0	0				

(3) 入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2024年3月31日 現在

		2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性	1		1									1	3	3
	女性													0	
上田市	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	

(4) 退居者の状況 ④ 入所市町村別、退所状況

2024年3月31日 現在

		2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性													0	1
	女性			1										1	
上田市	男性											1		1	1
	女性													0	
合計	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	

(5) 日常生活動作の状況

2024年3月31日 現在

入浴		人数	食事		人数	排泄		人数
自分で可能	0	自分で可能	6	昼間	便所	自分で可能	2	
一部介助	2	一部介助	1			一部介助	4	
全面介助	10	全面介助	5		ポータブル	自分で可能	0	
						一部介助	0	
					オムツ使用		6	
合計	12	合計	12	合計		12		
移動		人数	着脱		人数	排泄		人数
自分で可能	3	自分で可能	1	夜間	便所	自分で可能	1	
一部介助	0	一部介助	1			一部介助	1	
車イス自力移動	0	全面介助	10		ポータブル	自分で可能	2	
車イス全介助	9			一部介助	0			
				オムツ使用		8		
合計	12	合計	12	合計		12		
							パウチ・カテーテル使用者	1

\*カテーテル使用者1名

(6) 面会、外出、外泊回数状況

① 利用者に対する面会回数別分布

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日 まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
0回	9	4	5	4	4	7	5	7	7	5	7	5	69	5.8
1回	2	6	4	3	2	2	3	2	1	5	3	4	37	3.1
2~5回	1	2	4	5	6	3	4	3	4	2	2	2	38	3.2
6~11回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
12回以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1

② 月別面会

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会件数	4	11	23	18	16	13	18	15	13	8	24	22	185	15.4
面会人数	7	16	52	42	36	27	28	28	19	10	36	38	339	28.3
定員	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	13	12		
外出数	0	0	1	3	3	3	5	4	3	2	3	3	30	2.5
外泊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※定員は入退居者数の合計

(7) 入浴状況

① 個浴

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清拭延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1週1人当たり回数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	7	7	7	6	6	6	5	5	5	6	6	6	72
清拭延人数	4	10	6	3		2			3	2	3		33
入浴延人数	53	46	50	45	48	47	41	40	38	47	45	50	550
1週1人当たり回数	2.04	2.00	2.00	2.00	2.00	2.04	2.05	2.00	2.05	2.04	2.00	2.08	2.03

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
対象者数(実人数)	5	5	5	6	6	6	7	7	7	6	6	6	72
清拭延人数		4	3	4	1	3	4	5	3	3	3		33
入浴延人数	43	36	38	45	47	46	52	51	53	46	45	48	550
1週1人当たり回数	2.15	2.00	2.05	2.04	2.00	2.04	2.00	2.00	2.00	2.04	2.00	2.00	2.03

### ① 事業内容(2023 年度総括)

2023 年度認知症対応型課では、ご利用者様の暮らしの質を高め、安定した事業運営を行っていくために「早期発見・早期治療、入院者 0 を目指します」と全グループホームの目標を設定しました。

入院者 0 を目指してきましたが、誤嚥性肺炎による入院で空床日数 7 日間ありました。前年度比で入院日数が 223 日から 216 日減らすことができ、訪問看護や主治医との早期連携・早期対応・リスクマネジメントを 2024 年度も継続していきます。

看取りなど入退去による空床日数 32 日 6 名の入居がありました。

1 名平均 5.3 日での入居となり、円滑な入居となることができました。申し込み待機者の整理、次期入居者へのアプローチのタイミングを居宅と係長との円滑な連携を 2024 年度も行っていきます。

稼働実績では、稼働率 98% を目標に取り組み、全体の実稼働率は 99.6% と目標を達成することができました。目標達成率 102% となりました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

#### 1 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

・みんなで話し合い、「まずやってみよう！ やってダメならまたみんなで考えよう！」チャレンジしていきます。

80% カンファレンスなどで話し合い合意形成を図り、チャレンジしたからこそわかることが多かった 1 年となりました。

・学ぶ機会を充実させ、ケアに繋げていきます。

80% グループホーム勉強会を 3 か月に 1 度（年 4 回）開催し、意見交換の時間を意識的にとり事業所間の交流から多くの職員がエンパワーメントすることができました。

・職員間で、やって良かったと思える報、連、相、打、根を徹底し、認められ働きがいのある職場を作ります。

70% 職員間で話しやすい風土がやって良かったと思える報連相につながります。

#### 2 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

・責任と誇りを持ち、自身のケアを振り返り不適切なケアを見直し、本人の視点に立ったケアを実践していきます。

60% 対人援助職として自身のケアを振りかえり虐待につながらないように、不適切なケア・声掛けから見直し本人の視点に立ったケアの実践を継続していきます。

・人生の最期の時間をどのように生きていきたいのかご利用者様・ご家族様・医療・看護・専門職・介護と対話をして、ご本人の意思・ご家族の思いを形にできる実践を行います。

80% 訪問看護ステーションとの担当制を継続し多職種連携を図り、職員同士協力しながら GH で有意義な時間を過ごしていただくことができました。

・業務を見直し改善に取り組み、職員間のコミュニケーションを円滑にしていきます。

70% 重複している記録の見直しや、休憩時間の確保に取り組んできました。

### 3 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・地域にある事業所としてオープンなグループホームにしていきます。
- ・コロナ禍で薄れてきている地域の皆様との関係性を再構築するために、地域行事への参加を継続していきます。
- ・各グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組みます。
- ・運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます。

60% 運営推進会議の開催ができ避難訓練も行えたGHもありましたが、まだできていないGHもあり 2023年度は全GH参集型の開催をしていきます。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・学ぶ機会を充実させ、ケアに繋げていきます。
- ・責任と誇りを持ち、自身のケアを振り返り不適切なケアを見直し、本人の視点に立ったケアを実践していきます。
- ・地域の一員、隣の一軒家として明るい挨拶をして顔の見える関係性を作ります。
- ・地域の皆様にグループホームを知ってもらえるため広報・PRを行います。

### ④ 目標とする事項(2024年度事業計画)

- ・個々のもちまえの質を理解し学ぶ力を伸ばします。
- ・知識と技術を習得したものを活かします。
- ・理念に基づいて、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育みます。
- ・行動には理由があることを理解し、最期まで本人の視点に立ったケアを実践します。
- ・医療・看護・専門職と良好な連携を取りご利用者様の暮らしやすさを提供していきます。
- ・責任と誇りを持ち、介護者側からの都合で行われる不適切なケアを改善し、高齢者虐待防止に取り組めます。
- ・業務を見直し改善に取り組み、職員間のコミュニケーションを円滑にしていきます。
- ・地域にある事業所としてオープンなグループホームにしていきます。
- ・コロナ禍で薄れてきている地域の皆様との関係性を再構築するために、地域行事への参加を継続していきます。
- ・各グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組みます。
- ・運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます



① 事業内容(2023 年度総括)

- ・事故 0、入院 0 を目指し訪問看護との連携を密に行うことで大きな事故もなく高い稼働率を維持することができました。入居申し込み者の情報共有、他事業所との連携で空床後の新規入居へスムーズにつなげることができました。
- ・職員間で『看取りケア』について話し合い共通認識をもつ事で、ご本人様・ご家族様の想いに沿った看取りを行うことができました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

年度末のコロナウイルスによるクラスターがありましたが、医療看護との迅速な連携によって、入院者を出すことなく乗り切ることができました。

5/23 にご利用者様をお看取り、5/27 に新規入居者様をスムーズに入居できたため稼働率は 99% を達成する事ができました。

③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

目標としていた、各職員の担当ご利用者様への月別モニタリングとケアプランの周知については実行するまでには至らずに終わってしまいました。

運営推進会議においては書面開催のみとなってしまったため、対面形式での実施を計画していきます。

④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

多面的に観察する力、記録する力、発信する力の向上を目指して日々のケアから気付き、記録し、チームに発信できるよう働きかけていきます。

地域の方々に気軽に訪問していただける施設にしていくなかで運営推進会議の対面開催を再開していきます。

## 2023年度 萩・曲尾グループホーム事業報告

定員 : 6名

常勤職員: 3名      非常勤職員: 5名 (兼務含む)

勤務体制: 日勤者2名 夜勤者1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6	7	7	6	6	6
利用率(%)	100.00%	90.30%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
視察研修回数	0	0	0	0	0	0
外泊数	0	0	0	0	0	0
ショート利用日数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会(回)	6	12	14	9	11	13
来客(回)	0	2	0	0	1	0
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率(%)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
視察研修回数	0	0	0	0	0	0
外泊数	0	0	0	0	0	0
ショート利用日数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会(回)	12	13	12	10	6	3
来客(回)	0	0	1	0	2	1
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0
入退去者	2 名		平均稼働率		99.20%	
入居者平均年齢	89.5 歳		男性: 1名 女性: 5名			
要介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
			4	1	1	3.5

### ① 事業内容(2023 年度総括)

- ・理念、スローガンを会議で唱和し、理念に対し以前より意識を高く持ち、ケアの方向性をチームみんなで決めて実践していくことができました。

急性心筋梗塞や住み替えによるお別れがあり、いつも通りの明日が必ずしも来ないことを改めて学ばせていただく経験をさせてもらいました。

訪問看護ステーションとの円滑な連携や、居室担当による総合記録シートのダブルチェックの徹底などご利用者様の健康管理の在り方を見直し、入院者 0 を達成することができました。

- ・利用率 98 % (年間空床日数 44 日以内)

1 ユニット 99.3%      2 ユニット 100%      全体 99.7%      達成率 101.6%

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

#### 1 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

- ・みんなで話し合い、「まずやってみよう！やってダメならまたみんなで考えよう！」チャレンジしていきます。

80% カンファレンスなどで話し合い合意形成を図り、チャレンジしたからこそわかることが多かった 1 年となりました。

- ・学ぶ機会を充実させ、ケアに繋げていきます。

80% グループホーム勉強会を 3 か月に 1 度 (年 4 回) 開催し、意見交換の時間を意識的にとり事業所間の交流から多くの職員がエンパワーメントすることができました。

- ・職員間で、やって良かったと思える報、連、相、打、根を徹底し、認められ働きがいのある職場を作ります。

70% 職員間で話しやすい風土がやってよかったと思える報連相につながります。

#### 2 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

- ・今までのケアを振り返り介護者本位から、ご利用者様本位のケアの実践をチームで取り組みます。

- ・職員同士、介護・支援に対する大切にしている思いを語り合い、笑顔のあふれる実践をします。

70% 研修や勉強会での学びを実践に生かす姿勢が多くみられるようになりました。

- ・業務の見直しを行い、ゆとりのある働き方をみんなで再構築していきます。

70% 重複している記録の見直しや、休憩時間の確保に取り組んできました。

#### 3 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・地域の一員、隣の一軒家として明るい挨拶をして顔の見える関係性を作ります。
  - ・地域の皆様にグループホームを知ってもらえるため広報・PRを行います。
  - ・地域の清掃活動に参加し、資源の活用に協力します。
- 60% 運営推進会議の開催ができず2023年度は全G H参集型の開催をしていきます。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・今までのケアを振り返り介護者本位から、ご利用者様本位のケアの実践をチームで取り組みます。
- ・地域の一員、隣の一軒家として明るい挨拶をして顔の見える関係性を作ります。
- ・地域の皆様にグループホームを知ってもらえるため広報・PRを行います。

### ④ 目標とする事項(2024年度事業計画)

- ・自分自身の長所と一緒に働く仲間の長所お互いを理解し、知識と技術を習得したものを理念に基づいた実践に活かします。
- ・理念に基づいて、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育みます。
- ・カンファレンス以外に年二回下原グループホーム会議を開催し、日々のケアを振りかえり働きがいのある組織づくりを行います。
- ・明るく笑顔で挨拶して感謝を言葉に出し、相互理解を深めます。
- ・最期まで本人の視点に立ったケアを実践していきます。
- ・ご利用者様と職員共にゆっくりのんびり・ワクワク楽しい時間を創造していきます。
- ・医療、看護、専門職と良好な連携を取りご利用者様の暮らしを支えます。
- ・地域の皆さんにグループホームの事を理解してもらえる、オープンなグループホームを目指します。
- ・グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組みます。
- ・運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます。

## 2023度 下原グループホーム①事業報告

定員 : 6名

常勤職員 : 6名 非常勤職員 : 6名

勤務体制 : 日勤者2名 夜勤者1名

### 月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	5~6名	5~6名	6名	6名	6名	6名
利用率 (%)	93.9%	98.9%	100%	100%	100%	100%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
視察研修回数	2回4名	0	0	1回1名	1回3名	1回2名
家族面会(回)	2回4名	10回16名	15回24名	14回15名	14回17名	9回9名
来客(回)	0	0	0	0	0	0
ボランティア(回)	2回	1回	1回	0	1回	1回

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6名	5~6名	6名	6名	6名	6名
利用率 (%)	100.0%	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
視察研修回数	1回2名	0	0	1回4名	1回2名	0
家族面会(回)	7回17名	13回23名	10回14名	10回14名	8回10名	7回10名
来客(回)	0	0	0	0	0	0
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

退去 2名	入居 2名	<b>平均利用率</b>				<b>99.3%</b>
入居者平均年齢		87.7歳		男性:0名 女性:6名		
要介護度別人数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均要介護度
	0	0	2	2	2	4

1月 ショートステイ

## 2023年度 下原グループホーム②事業報告

定員 : 6名

常勤職員 : 6名 非常勤職員 : 6名

勤務体制 : 日勤者2名 夜勤者1名

### 月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
利用率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
視察研修回数	0	3回3名	4回4名	2回2名	0	1回1名
家族面会(回)	0	4回7名	4回7名	10回17名	3回10名	3回5名
来客(回)	0	0	0	0	0	0
ボランティア(回)	2回	1回	1回	0	1回	1回

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
利用率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
視察研修回数	4回4名	0	0	0	0	0
家族面会(回)	5回9名	9回12名	4回4名	7回10名	1回1名	0
来客(回)	0	0	0	0	1回2名	0
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

退居 0名	入居 0名	平均利用率				100.0%
入居者平均年齢		89.8歳		男性:1名 女性:5名		
要介護度別人数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均要介護度
	0	1	2	1	2	3.6

### ① 事業内容(2023 年度総括)

- ・法人の運営理念、スローガンを定着するために、事業所会議では必ず「運営理念・スローガン」を全員で唱和してきました。「運営理念・スローガン」を唱和することは会議の日常となり、毎日の業務の根っこになっています。ご利用者様の「幸せ」と「安心」と「生きる日々」を「大切に」、進めてまいりました。
- ・ご利用者様が、不本意な入院をすることなく、最期まで真田グループホームで暮らし続けていただけるよう、「入院者ゼロ」を事業所の目標にしてきました。担当制になり、訪問看護との連携が向上しました。そのため、主治医、リハビリ、歯科衛生士、管理栄養士との連携もスムーズになり、相談しやすく、早期発見、早期治療につなげることができ、「入院者ゼロ」を達成することができました。
- ・お一人の方をグループホームでお看取りしました。11 か月という短い時間でしたが、訪問看護、主治医、専門職の方々とご家族と一緒に支えることができ、感謝しています。ご利用者様をグループホームだけで支えているのではなく、法人全体がチームとなり、私たちが支えられていることを実感した一年でした。
- ・チームの一人一人が尊重され、認め合うことを大切に「名前を付けての挨拶」を実践してきました。業務の伝達、コミュニケーションが向上しました。今後も継続していきたいことです。 利用率 99.4%

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

#### 1 すべての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

- ・ご利用者様の様子は総合記録シートを活用し、各居室担当がチェックすることによって、ご利用者様をよりよくみることに繋がっています。カンファレンスでは、居室担当から課題報告を行い、発信することも大切にしてきました。
- ・日誌書式を変更し、業務のスリム化ができました。
- ・様子変化には速やかに訪問看護・専門職・主治医と連携を取りました。
- ・職員研修会の参加率が高く、スキルアップの機会が持てました。
- ・個々の得意分野を活かしてレクリエーションなどは自由に企画し、実施することができました。

#### 2 優しさに包まれて介護・支援に取り組みます

- ・訪問看護、ご家族、各専門職の方々のご協力により、1 名の方の終末期、看取りができました。
- ・ご家族様との時間を大切に、また、ご家族様に安心していただけるよう、お手紙と写真を送りました。
- ・ご利用者様が心地よく、楽しく過ごしていただけるよう、季節の行事やお誕生日会などを行ってきました。個性的な企画もあり、バラエティーに富んだ 1 年になりました。
- ・毎日体調を確認し、ご利用者様の不調にいち早く気づき、必要な対応ができるよう、情報共有を大切にしてきました。

#### 3 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・地域の清掃活動に参加でき、同じ組合の方々に顔を覚えていただくことができました。
- ・真田自治会の公民館清掃、山家神社清掃に参加でき、組合を超えて地域の方と交流する機会が持てました。
- ・地域の行事のどんど焼きにご利用様と参加でき、地域の方に手を貸していただく場面もあり、地域の方のご理解ご協力に感謝しています。
- ・運営推進会議を活用し、防災訓練に地域の方に参加していただきました。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・「ご利用者様本位」について立ち返り、学び、考え続けていきます。
- ・地域で実施される防災訓練へ参加し、地域との連携が図れるよう取り組んでいきます。
- ・職場環境の改善として休憩時間の摂り方について、検討していきます。
- ・施設・設備の整備等、必要な個所を精査し、法人と検討をしていきます。
- ・施設外研修への参加を検討していきます。

### ④ 目標とする事項(2024年度事業計画)

- ・医療、専門職との連携を円滑に行い、早期発見、早期連携、早期治療「入院者0」を目指します。
- ・ご利用者様、ご家族様のニーズを把握し、利用率98%（年間の空床日数44日以内）を目指します。
- ・多様性を認め合い、一人ひとりのスキルが活かされる1年を目指します。
- ・職員もご利用者様も、多様な価値観や背景を持っていることを理解していきます。
- ・職員一人一人の個性を活かし、ご利用者様の支援がより豊かなものになるよう取り組みます。
- ・名前を付けて挨拶することを継続するとともに、業務の様々な場面でも名前を付け、チームメンバーをリスペクトしていきます。
- ・事業所会議でメンバーの「良かったこと」をお互い発表し合う機会を持ちます。
- ・地域行事に参加し、地域の一員としての務めを果たせるよう取り組みます。
- ・運営推進会議を通じ、自治会の方とのつながりを持てるよう取り組みます。

## 2023年度 真田グループホーム事業報告

定員：6名

常勤職員：3名 非常勤職員：3名 (R6.3.31現在)

勤務態勢：日勤者2名 夜勤者：1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
利用率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視察研修回数	1回(2名)	1回(1名)	0	0	1回(2名)	1回(2名)
外泊数	0	0	0	0	1回(1名)	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会回数	11回(18名)	7回(10名)	9回(16名)	16回(19名)	14回(20名)	9回(12名)
来客回数	17回(17名)	20回(21名)	12回(12名)	3回(5名)	0回(0名)	9回(18名)
ボランティア回数	0	1回(1人)	1回(1人)	0	1回(1人)	1回(1人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
利用率(%)	100.0%	98.3%	94.6%	100.0%	100.0%	100.0%
視察研修回数	0	0	0	0	1回(3名)	1回(3名)
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会数	7回(10名)	23回(47名)	20回(28名)	9回(15名)	5回(8名)	15回(18名)
来客回数	4回(8名)	8回(10名)	1回(1名)	7回(8名)	1回(1名)	8回(8名)
ボランティア回数	0	0	0	0	0	0

退居者：1名 入居者：1名

入居者平均年齢：89.3歳 平均稼働率 **99.40%**

男性：0名 女性：6名

介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
	2名	2名	0名	1名	1名	2.5

① 事業内容(2023 年度総括)

認知症高齢者の生活支援  
緊急時短期利用

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・利用平均稼働率 99.6%
- ・施設内の掲示、カンファレンスでの唱和の実践により、各職員に理念・スローガンの定着化を図る事ができました。
- ・カンファレンスや日々の業務に於いて、職員間での伝達や情報共有に努め、各々が気づきの積極的な発信を行い、ご利用者様の“望まれている支援”に向けて、チームケアで検討し実践していくという意識を高めることができました。
- ・職員の異動や退職により人員不足の深刻化がすすみ、他部署からの応援により運営を行っている状況であり、未経験業務への実践等のスキルアップの機会を持つことは困難でしたが、職員 1 名が「介護職員基礎研修」を修了させてくれました。
- ・御利用者様の重度化や人員不足が深刻な中、各職員が声かけをしながらの良いチームワークで、自分にできる仕事を懸命に行ってくれました。
- ・コロナ禍が収束し、リハビリ体操の運営・参加や運営推進会議の実施、保育園や小中学校へカレンダー持参での挨拶に伺う事もでき、次年度への活動への足掛かりとすることができました。また 3 月の防火訓練の際、近隣住人の方々にご参加頂くことができました。

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・休憩時間の明確化
- ・施設内の環境整備に関わる全般
- ・小中学校とのリサイクル活動の協力や運動会の見学等による交流
- ・人員不足による応援体制からの脱却と時間外や休日労働の常態化によるゆとりのない職場環境

④ 目標とすべき事項（2024 年度事業計画）

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者 0」を目指します。
- ・利用率 98%（年間の空床日数 44 日以内）を目指します。
- ・施設内の環境整備とゆとりある職場環境づくり

## 2023年度 菅平グループホーム事業報告

定員:6名

常勤職員 :2名 非常勤職員 : 3名 (R6.3.31現在)

勤務態勢 :日勤者2名 夜勤者 : 1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.2%	100.0%
視察研修回数	0	0	0	0	0	0
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	9	0
家族面会回数	3回(7名)	7回(9名)	3回(7名)	5回(11名)	2回(2名)	3回(3名)
来客回数	8回(9名)	6回(6名)	10回(10名)	4回(4名)	5回(5名)	8回(11名)
ボランティア回数	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視察研修回数	0	0	0	0	0	0
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会数	4回(5名)	3回(5名)	6回(12名)	1回(1名)	4回(4名)	1回(1名)
来客回数	5回(5名)	2回(2名)	5回(6名)	1回(2名)	4回(5名)	3回(3名)
ボランティア回数	0	0	0	0	0	0

退居者:0名 入居者:0名

入居者平均年齢 : 90.2 歳 平均稼働率 99.60%

男性 :0名 女性 : 6名

介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
	0名	0名	1名	1名	4名	4.5

① 事業内容(2023 年度総括)

通所サービス

保険外宿泊サービス

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・ 人員不足によりサービス利用日が限定されることもあり、問合せは増えましたがなかなか登録までにはいたらず、1 名の新規登録者は体調悪化のため継続的に利用して頂くことができませんでした。
- ・ 施設内の掲示、カンファレンスでの唱和の実践により、各職員に理念・スローガンの定着化を図る事ができました。
- ・ カンファレンスや日々の業務に於いて、職員間での伝達や情報共有に努め、各々が気づきの積極的な発信を行い、ご利用者様の“望まれている支援”に向けて、チームケアで検討し実践していくという意識を高めることができました。
- ・ 職員の異動や退職により人員不足の深刻化がすすみ、他部署からの応援により運営を行っている状況であり、未経験業務への実践等のスキルアップの機会を持つことは困難でしたが、職員 1 名が「介護職員基礎研修」を修了させてくれました。
- ・ 御利用者様の重度化や人員不足が深刻な中、各職員が声掛けをしながらの良いチームワークで、自分にできる仕事を懸命に行ってくれました。
- ・ コロナ禍が収束し、リハビリ体操の運営・参加や運営推進会議の実施、保育園や小中学校へカレンダー持参での挨拶に伺う事もでき、次年度への活動への足掛かりとすることができました。また 3 月の防火訓練に近隣住人の方々にご参加頂くことができました。

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・ 御利用者様本位なサービス提供ができるような人員不足をはじめとした体制の見直し
- ・ 施設内の環境整備に関わる全般
- ・ レク活動の減少
- ・ 休憩時間の明確化

④ 目標とすべき事項（2024 年度事業計画）

- ・ 登録者数の増員と利用実績の拡大
- ・ ニーズにあったサービスの提供
- ・ 施設内の環境整備とゆとりある職場環境づくり

2023年度 普及共用型通所介護 時間帯利用実績合計

	4月(目標件数30件)				5月(目標件数30件)				6月(目標件数30件)				7月(目標件数30件)				8月(目標件数30件)															
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	
要支援 1																																
要支援 2																																
要介護 1																																
要介護 2																																
要介護 3																																
要介護 4																																
要介護 5																																
今月実績																																

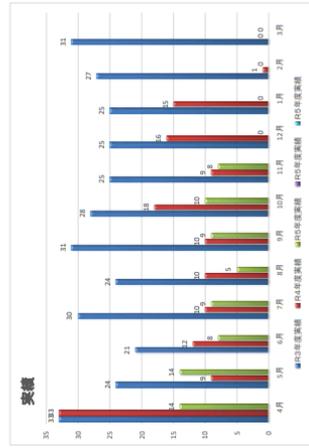
	9月(目標件数30件)				10月(目標件数30件)				11月(目標件数30件)				12月(目標件数30件)				1月(目標件数30件)															
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	
要支援 1																																
要支援 2																																
要介護 1																																
要介護 2																																
要介護 3																																
要介護 4																																
要介護 5																																
今月実績																																

	2月(目標件数30件)				3月(目標件数30件)										
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計
要支援 1															
要支援 2															
要介護 1															
要介護 2															
要介護 3															
要介護 4															
要介護 5															
今月実績															

	現在までの累計(年累計)							
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	合計	実績数
要支援 1								
要支援 2								
要介護 1								
要介護 2								
要介護 3								
要介護 4								
要介護 5								
合計	2	13	61	8	0	0	84	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度実績	33	24	21	30	24	31	28	25	25	27	31		324
R4年度実績	33	9	12	10	10	10	18	9	16	15	1	0	143
R5年度実績	14	14	8	9	5	9	10	8	0	0	0	0	77
計													0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2~3h													1
4~5h													0
5~6h													68
6~7h													8
7~8h													0
8~9h													0
計	14	14	8	9	5	9	10	8	0	0	0	0	77



在宅事業部として通所介護事業課（デイサービスセンターアザレアン・萩の家・訪問入浴サービスアザレアン・日常生活支援総合事業アザレアン）、訪問介護事業課（ホームヘルパーステーションアザレアン・24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン・居宅介護・重度訪問介護・サービス付き高齢者向け住宅アザレアン）小規模多機能型事業課（大畑の家・新田の家）、相談支援事業課（居宅介護支援センターアザレアン）の運営。

1.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる1年にします

- ・積極的に研修へ参加し知識、技術の向上に努めました。
- ・職員間でも相互理解を深め、気持ちの良い挨拶と感謝の言葉を伝えることで連携強化を図りました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

- ・ご利用者様やご家族様に満足していただけるよう、質の高いサービス提供と相談援助を心掛け実践してきました。
- ・通所では季節の行事や運動、ゲームなどを計画し、ご利用者様に楽しんでいただくプログラムを提供しました。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・地域密着型事業所では定期的に運営会議を開催し、地域の方々にも参加していただく機会を作る事で貴重なご意見、ご感想を聞くことができました。

② 2023年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

在宅事業部の各事業課での目標達成率については事業所ごとの報告を参照。

- ・法人の運営理念・スローガン・行動規範を常に意識し業務を遂行しました。
- ・ご利用者様の尊厳を守り専門職としてニーズに合わせたサービス提供に努めました。
- ・在宅事業部では事業所間の連携強化を図るために連携会議を開催しました。

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・目標の利用率を達成できない事業所もあり、経営は厳しい状況でした。
- ・各事業所で人材不足が続いており、十分な職員の補充ができませんでした。
- ・2023年度に達成できなかった事項は2024年度に課題として引続き取り組んでいきます。

④ 目標とする事項（2024年度事業計画）

事業所ごと2023年度に課題とした事項の改善と、新たに計画した2024年度の目標達成に向けて全職員で取り組んでまいります。

具体的行動計画の3本の柱は職員一人一人が常に意識しながら業務を遂行し、健全な運営と経営の安定を図ります。

### ① 事業内容 (2023 年度)

通所介護事業課としてデイサービスセンターアザレアン、訪問入浴アザレアン、日常生活支援総合事業アザレアン、認知症対応型通所介護 萩の家の業務運営を行いました。

1、全ての職員が新たな自分を発見し自らを高める 1 年にします。

- ・職員一人ひとりが目標もとに、専門性を高めるための研修に参加しました。
- ・チームとして信頼し合える仲間づくりを積極的に感謝の言葉を伝える努力をしました。
- ・情報の共有、課題解決に向けて、多職種連携を密にしました。
- ・多様な勤務形態職員との連携を図りました。

2、優しさに包まれた介護・支援に取り組みます。

- ・ご利用者様の意思、尊厳、自己決定を尊重し、安全安心なサービス提供に努めました。
- ・身体機能向上・維持の為、専門職がアセスメント、評価を実施しました。
- ・ご利用者様の在宅生活に添った機能訓練、アクティビティ活動提供しました。
- ・ご利用者様一人ひとりの情報提供を、ご家族、関係機関に適切に実施し、早期発見、早期治療に努めました。

3、地域の一員として繋がり、地域に貢献します。

- ・住み慣れた地域での生活の継続が出来るよう、地域の行事にご利用者様との参加に努めました。
- ・地域の小学校との交流を実施しました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率 (数値) 及び成果について

- ・デイサービス・・・100.3% ・萩の家・・・78.8%
- ・訪問入浴・・・68.8 ・総合事業・・・85%

### ③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

- ・感染対策については、基本的な対策をすべての職員が実施し、感染拡大防止に努めます。
- ・稼働目標を未達成の事業所については新規獲得の営業活動を強化していきます。
- ・慢性的な人員不足については業務内容の見直し、働きやすい環境作りに努めていきます。
- ・月次報告書の作成配布の継続とご家族様、介護支援専門員との連携を継続していきます。
- ・感染症や災害に備え、地域住民の方々を交えた防災訓練を開催します。

### ④ 目標とする事項 (2023 年度事業計画)

- ・理念に基づき、事業所の稼働目標を目指し経営の安定に努めます。
- ・地域福祉の拠点となる為、多様なニーズに応えられる事業所を目指します。
- ・職員一人ひとりが事業所ごとの具体的な行動目標を基本に業務見取り組みます
- ・事業所会議、職員研修に参加し、スキルアップを目指していきます
- ・「報・連・相・打・根」の徹底をし、職員間で不徹底な部分もあったため情報共有を行っていきます。
- ・必要なサービスが安定的提供できるよう感染対策の徹底をします。
- ・経費節約の徹底を継続して行っていきます。

### ① 事業内容 (2023 年度)

2023 年度の事業目標として『ご利用者様が住み慣れた地域で生活していくために、多職種による健康状態の観察や身体機能及び認知機能の維持向上を目指します。』『ご利用者様が楽しみや、やりがいを持てるように行事やアクティビティ活動を実施していきます。』としました。

事業の稼働率は 100%を超え活気ある事業所として 1 年間活動してきました。例年冬季間は長期のショートステイ、老人保健施設へのリハビリ入所など稼働率は低下します。2024 年度は新規のご利用者様が毎月数名ずつあり、稼働率が目標達成となりました。

事業目標でもある健康状態の観察では、多職種、他事業所の連携がスムーズでスピーディーであったことで重篤化する以前に医療へつなげる、予防となることが出来ています。事業所の中でも常に身体的にケアする介護職員や、ケアの中から異変に気付く看護職員双方が連携、連絡、相談してきた結果といえます。

アクティビティ活動では様々な活動を提供し、ご利用者様が楽しみながら体を動かすことが出来ていました。新型コロナウイルス感染症が 5 類にはなったものの、高齢者施設での外出、ボランティアの受け入れが出来なかったことは非常に残念でした。

事業所内の多職種連携は円滑に行うことが出来ています。2022 年度から確実に実施が継続できている午前中の活動は定着しています。小集団の活動、個々の活動、訓練、などはご利用者様自身が意識的に活動を行えるようにまできています。以前とは見違えるような光景になっています。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率 (数値) 及び成果について

#### 1. すべての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします。…70%

研修の参加としては内部研修の参加は出来ていますが、外部研修への参加が出来ませんでした。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます。…95%

ご利用者様、ご家族様が自宅で住み続けることを念頭に置きながらサービス提供を行わなければ、事業所内だけで完結することとなってしまいます。送迎時時、担当者会議や介護支援専門員、他事業所からの情報を共有し、常に『自宅では?』どうなのかを必ず気に留めてきました。

### 3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します。…50%

キャラバンデイサービスの要請がなかった1年でした。地域の民生児童員の方や福祉推進委委員の方へのアピール活度を行うという目標が新たにできました。

非常災害時の避難所として施設事業課と連携し、今後も体制整備に協力していきます。

### ③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

ご利用者様からの要望を即実施できるようにすることで、満足度が上がってくると思います。そのためにはデイサービスでは何が出来、何が出来ないのかを職員一人ひとりが把握することが必要です。再度求められていることは何かを振り返る時間を作っていきます。

### ④ 目標とする事項（2023年度事業計画）

『ご利用者様が『楽しみ・生きがい』を感じられる活動・サービスを提供します。』

『ご家族様の介護負担の軽減（時間）とご利用者様の生活機能・認知機能の維持・向上（身体的負担・精神的負担の軽減）を促進します。』

『登録者 90 名以上、稼働率 90%以上の目標値を定めます。』

2022 年度出来ていた事項は継続し、さらに質の向上を目標とします。風通しの良い事業所風土を作り上げ、職員自身が楽しく、やりがいの見出せる事業所としていきたいです。

R5年度 年間実績

デイサービス													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数（要介護）	82	80	80	81	82	85	85	86	75	78	70	82	80.4
延べ人数（要介護）	638	686	647	680	671	750	726	677	671	493	555	617	654.0
登録者数（要支援）	14	12	10	11	12	13	11	11	12	11	11	10	11.6
延べ人数（要支援）	60	54	49	50	61	63	49	48	49	32	32	42	49.7
登録者数（障害者）	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	5.5
延べ人数（障害者）	38	53	58	56	51	54	58	58	38	18	49	50	48.3
稼働率	98.1%	105.7%	100.5%	104.8%	104.4%	115.6%	111.1%	104.4%	101.1%	72.4%	84.8%	88.6%	100.3%
送迎数	1387	1568	1502	1541	1536	1715	1692	1579	1494	1076	1314	1410	1491.3
キャンセル数	20	20	18	13	11	13	17	19	18	31	15	19	17.7
入院者数	4	4	1	9	10	5	7	7	6	5	5	3	5.7
休止者数	4	3	2	3	2	0	2	4	6	9	2	4	3.4
終了者数	5	4	4	3	2	3	3	3	3	3	2	0	3.2
新規利用者数	4	4	7	5	6	3	1	3	0	4	2	4	3.5



## ① 事業内容(2023 年度総括)

在宅で入浴が困難なご利用者様に安心、安全な入浴サービスの機会を提供します。重度、多様化の中にご利用者様、ご家族様が満足できるサービスの提供を目指し 2023 年度は行動計画 ①全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします ②優しさに包まれた介護・支援に取り組みます ③地域の一員として繋がり、地域に貢献しますの 3 点について事業目標としてきました。

- 1.認知症介護基礎研修、介護福祉士実務者研修、長野県在宅褥瘡セミナーなどそれぞれのニーズに合った研修、資格取得に取り組みました。スタッフ間でも感謝の気持ちを伝えあい協力することができました。ご利用者様の連絡先が、誰が関わっても分かるよう個人ファイルを作成しました。
- 2.ご利用者様、ご家族様と積極的にコミュニケーションをとり意思や思いを傾聴できるよう心がけてきました。朝のカンファレンスで介助方法や利用の様子、家族の希望など情報共有し思いに寄り添ったサービスに繋がっています。四季を感じて頂けるよう景色の写真を見て頂いたり、好みの音楽をかけたり、春はさくらの、夏は爽やかな色と香りの、冬は柚子や温泉シリーズなどの入浴剤を使用し入浴時間のひと時を楽しんで頂いています。
- 3.住み慣れた自宅で負担が少なく入浴できるよう環境に応じた配置や移動方法等の検討を行いました。自宅で安心して最期の時間を過ごせるようケアすることができました。訪問時は気持ちの良い挨拶と笑顔を忘れず、楽しい時間を過ごして頂けるよう関わっています。稼働率 80%を目指すとしましたが 68.8%が最高で 12 月より毎月 1 名ずつの退職で職員数減少により 1 台稼働にせざるを得ない状況となり年間平均稼働率は 58.21 となっています。

## ② 2023 年度事業計画に対する達成率、及び成果について

- 1.法人の運営理念、スローガンを定着するために 95%

職員間で情報共有し一人ひとりがご利用者様の個性、意思を尊重したサービスを提供できる努力をしました。運営理念、スローガンの読み合わせも行えました。

- 2.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします 95%

研修や資格取得に積極的に参加することができました。感謝の気持ち伝えあうことができました。

### 3.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます 95%

ご利用者様の興味、関心などをミーティングで話し合い季節の移ろいの話題や景色の写真を見て頂いたり、スマホで音楽をかけリラックスして頂いています。

### 4.地域の応援団を強化していきます 70%

住み慣れた自宅で身体への負担が少なく、ご利用者様に寄り添った入浴サービスを継続していきます。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

職員面接、ヒアリングを通して問題点の把握に努め、働きやすい職場作りに努めていきます。担当者会議に参加ができるよう努力していきます。

### ④ 目標とする事項(2024年度事業計画)

ご利用者様の個性、意思を尊重し寄り添える入浴サービスを行います。

ご利用者様、ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、心地よい入浴サービスを行います。

職員間で6つの実践を大切にし、やりがいのある職場を目指します。

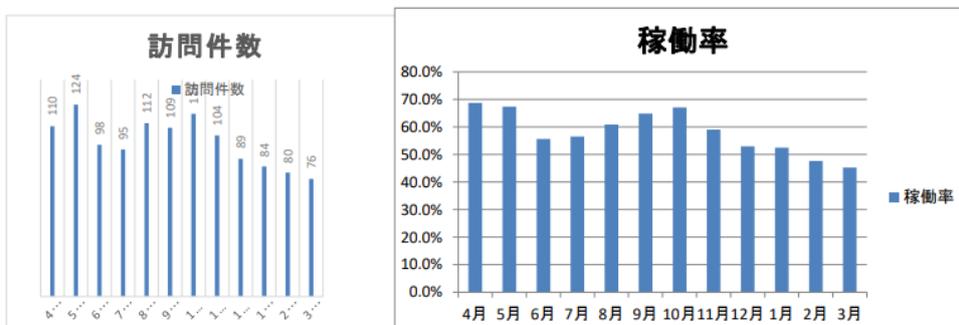
研修に参加し職員の知識、技術の向上を目指します。

感染対策をしっかり行います。

介護支援事業所に以前の様に実績を手渡ししながら、情報交換できるよう試みます。

## 訪問入浴実績報告 3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21
訪問件数	110	124	98	95	112	109	118	104	89	84	80	76
稼働率	68.8%	67.4%	55.7%	56.5%	60.9%	64.9%	67.0%	59.1%	53.0%	52.5%	47.6%	45.2%
キャンセル	9	12	12	7	4	4	10	5	7	11	5	4



① 事業内容(2023 年度総括)

2023 年度の事業目標として、「ご利用者様が運動や社会交流により、フレイルを  
 予防し身体機能の維持・向上を目指していきます。生活課題が解消できるように専門  
 職の評価や運動プログラムの実施を行っていきます。」という目標を設定しました。  
 感染対策を徹底し、新しい地域でもサービスが定着するように努めました。  
 介護予防事業として、社会交流の場や心身機能の維持向上に努めました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

1. 行動規範「6 つの実践」を実践していきます。 100%
2. 認知症予防の取り組みを実施していくために、研修などに参加します。 0%
3. 職員がほとんど業務を兼務しているため、報・連・相を細目に行い情報共有  
 をしていきます。 100%

③ 改善すべき事項 (未達成・継続事業)

1. 職員の研修参加
2. 総合事業は介護予防事業であり、地域住民の介護保険サービス利用の窓口と感じ  
 ております。アザレアンさなだを選んでいただけるよう、他事業所との差別化が課  
 題です。元気な高齢者の皆様にご利用いただき、口コミから新規ご利用者様  
 がサービスに繋がってくるケースが多いと感じています。日々ご利用者様に満足い  
 ただけるようにサービスの質を向上していきたいと思ひます。口コミだけではなく、  
 アピールできるもの脳トレ (大人の学校等) を導入していきます。

④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

1. 職員 1 人ひとりが長所を探り、伸ばし、深めます。(資質の向上)  
 職員間の報・連・相を徹底しご利用者様にきめ細やかなサービスを提供します。
2. 「ありがとう」が交わせる介護・看護・支援・保育・業務に取り組みます。  
 質の高いサービスを提供出来るよう研修に参加します。(サービスの質の向上)
3. 地域から信頼される関係を築きます。(地域関係の向上)  
 ご利用者様や地域包括支援センター等の関係機関とのネットワークを大切にします。

R5年度 年間実績

総合事業													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数(要介護)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
延べ人数(要介護)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
登録者数(要支援)	23	21	21	21	22	25	20	23	23	22	21	21	22.1
延べ人数(要支援)	82	77	88	78	79	77	80	75	75	50	37	62	76.1
登録者数(障害者)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
延べ人数(障害者)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
稼働率	39.4%	37.0%	42.3%	37.5%	38.0%	37.0%	38.5%	36.1%	36.1%	24.0%	17.8%	29.8%	36.6%
送迎数	142	140	152	133	142	144	147	168	0	0	0	0	142.2
キャンセル数	4	9	7	4	8	5	7	4	0	0	0	0	6.2
入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
休止者数	3	3	4	2	2	2	3	0	0	0	0	0	2.7
終了者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.3
新規利用者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2

① 事業内容(2023 年度総括)

基本的な事業として認知症高齢者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、必要な日常生活上の援助、機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消や、心身の機能の維持、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ってきました。小集団の中においても、1人ひとりに合わせたケアを行う事により、慣れ親しんだ地域で日常生活の充実を目指しながら精神的に安定した居心地のよい生活の場を提供することに努めてきました。

1、運営理念、スローガンを定着するために……………100%

- ・運営理念を毎朝職員で復唱,事業所会議でも実施し業務に取り組んでいます。

2、すべての職員が新たな自分を発見し自らを高められる……………80%

- ・職員研修を通じて、各自のスキルアップを図りました。

事業所会議では、全員が発言する機会を持ち一人ひとりの気付きや考えを発信し相互理解を深めています。

- ・「報・連・相・打・根」の徹底

3、優しさに包まれた介護・支援に取り組めます……………95%

- ・ご利用者様に居心地の良い環境の提供に努めています。
- ・事業所会議にて、身体拘束、虐待に関する振り返りを行うことで、改めてご利用者様への敬意と尊厳を守る視点を再確認しています。

4、地域の一員として繋がり、地域に貢献しています……………85%

- ・年2回、運営推進会議資料の書面配布を実施しました。今年度は事業所で開催し有意義な意見交換を行います。
- ・地域行事や小学校の運動会、音楽会へ参加させていただき、萩の家からはご利用者様作成の作品や雑巾をお渡しし交流の継続を図りました。
- ・地域住民の方々を交えた防災訓練の実施には至りませんでした。今年度の開催をみます

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・2023 年度 年間 2,333 件（月平均 199.4 件）1 日平均 6 名以上を目標に掲げ運営してきました。
- ・実績として 年間 1830 件（月平均 152.5 件）1 日平均 5.7 名、稼働率 78%目標達成にはいたりませんでした。
- ・1 年間の新規登録者数は 7 名、休止者 11 名でした。

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・得た情報は申し送りに記載し、出勤時必ず職員全員が確認することを徹底します。
- ・地域住民の方々と交えた防災訓練の開催について  
感染対策を行いながら、計画的な運営推進会議の開催と地域住民参加型の防災訓練の検討を行います。
- ・居宅介護支援事業所へ空き情報の提供やチラシを配布等の情報提供を行い、信頼関係の構築を行い、新規ご利用者様の獲得に努めていきたいと思っております。

### ④ 目標とする事項 (2023年度事業計画)

住み慣れた地域での生活継続の為、ご利用者様の思いに寄り添い、健康状態の観察や心身機能の維持、向上を目指します。

- 1、職員同士の相互理解を深め、働きやすい職場にするために、感謝の言葉を伝えていきます。
- 2、認知症ケアの理解を深め、ご利用者様一人ひとりに添ったケアの提供を実施します。
- 3、ご利用者様が住み慣れた地域で生活していくため、多職種と連携し支援を行います。
- 4、季節ごとの行事の計画、実践をし、ご利用者様が笑顔で過ごしていただける活動を行います。
- 5、月次報告書の作成、配布の継続とご家族様、介護支援専門員との連携を継続していきます。
- 6、感染症や災害に備え、地域住民の方々と交えた防災訓練を開催します。

### 認知症対応型通所介護 【 萩の家 】

R5年度営業月数	12
R4年度営業月数	12

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
R5年 総利用者数	183	201	183	174	157	134	103	138	129	154	143	131	1830	152.5
R4年 総利用者数	200	207	212	216	227	206	204	221	146	210	5	206	2260	188.3
R5年度 キャンセル数	4	0	1	3	0	2	1	2	9	8	5	3	38	3.2
R4年度 キャンセル数	3	3	1	0	0	1	0	2	1	1	4	2	18	1.5
R5年度一日平均利用者数	7.3	7.1	7.0	6.4	5.8	5.1	3.6	5.3	4.7	5.9	5.2	4.8	68.2	5.7
R4年度一日平均利用者数	7.4	6.6	8.1	7.7	8.1	7.3	7.8	8.1	7.3	8.1	7.4	7.6	91.5	7.6
R5年度 登録者数	16	16	14	14	13	11	10	11	13	14	14	12	158	13.2
R4年度 登録者数	18	18	17	17	18	18	19	18	16	17	17	17	210	17.5
R5年度 介護予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R4年度 介護予防	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0.3
R5年度 新規利用者	0	1	1	0	0	0	0	1	2	2	0	0	7	0.6
R4年度 新規利用者	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	7	0.6
R5年度 入院者	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	7	0.6
R4年度 入院者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	0.3
R5年度 休止(終了)者	1	2	1	0	1	2	1	0	0	1	1	1	11	0.9
R4年度 休止(終了)者	2	0	2	0	2	1	1	0	1	1	0	1	11	0.9
R5年度 宿泊者	3	4	2	4	2	4	4	2	1	5	6	3	40	3.3
R4年度 宿泊者	4	5	2	2	1	1	2	2	3	2	1	4	29	2.4
R5年度 宿泊数	7	8	5	8	4	10	8	3	1	5	13	10	82	6.8
R4年度 宿泊数	5	7	3	1	2	2	4	5	5	4	2	4	44	3.7
R5年度 稼働日数	25	28	26	27	27	26	28	26	27	26	27	27	320	

2023年度 家の家 時間帯別利用者数

区分	4月				5月				6月				7月				8月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	
要介護1																					
要介護2																					
要介護3																					
要介護4																					
要介護5																					
合計	3	3	160	12	15	133	15	5	1	189	20	16	301	1	2	182	14	14	133	14	
目標	180(※平均)																				
前年実績	18	17	174	13	13	200	18	1	1	181	12	207	18	2	188	12	12	212	18	2	
前年比	91.5%																				
平均介護度	2.6																				

区分	9月				10月				11月				12月				1月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	
要介護1																					
要介護2																					
要介護3																					
要介護4																					
要介護5																					
合計	3	3	95	19	14	134	9	1	87	21	14	108	11	2	112	12	11	138	13	1	
目標	180(※平均)																				
前年実績	19	2	6	176	11	12	208	19	1	5	4	188	15	11	204	18	1	3	190	11	
前年比	83.0%																				
平均介護度	2.5																				

区分	2月				3月				4月				5月				6月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	2~4	4~5	5~6	6~7	
要介護1																					
要介護2																					
要介護3																					
要介護4																					
要介護5																					
合計	1	2	148	10	24	166	17	4	5	140	29	28	206	1	2	148	10	24	166	17	
目標	180(※平均)																				
前年実績	17	1	2	148	10	24	166	17	4	5	140	29	28	206	1	2	148	10	24	166	
前年比	78.0%																				
平均介護度	2.4																				

2021年度 家の家 時間帯別 利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2~4	3	5	1	1	1	1	3	1	2	4	6	1	28
4~5	3	1	2	2	1	3	1	1	1	1	1	1	108
5~6	199	189	162	140	128	95	67	112	97	120	117	17	1385
6~7	12	20	14	17	13	19	21	12	10	15	20	10	183
8~10h	3	2	1	3	2	2	2	2	2	2	17	7	39
合計	193	201	183	174	157	134	103	138	124	159	145	131	1832

2023年度 家の家 時間帯別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2~4	3	5	1	1	1	1	3	1	2	4	6	1	28
4~5	3	1	2	2	1	3	1	1	1	1	1	1	108
5~6	199	189	162	140	128	95	67	112	97	120	117	17	1385
6~7	12	20	14	17	13	19	21	12	10	15	20	10	183
8~10h	3	2	1	3	2	2	2	2	2	2	17	7	39
合計	193	201	183	174	157	134	103	138	124	159	145	131	1832

2024年度 家の家 時間帯別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2~4	3	5	1	1	1	1	3	1	2	4	6	1	28
4~5	3	1	2	2	1	3	1	1	1	1	1	1	108
5~6	199	189	162	140	128	95	67	112	97	120	117	17	1385
6~7	12	20	14	17	13	19	21	12	10	15	20	10	183
8~10h	3	2	1	3	2	2	2	2	2	2	17	7	39
合計	193	201	183	174	157	134	103	138	124	159	145	131	1832

22単位  
40単位  
x0.104  
x0.031

【家の家】  
サードシステム強化加算(1)  
入浴加算  
介護職員処遇改善加算(1)  
介護職員特定処遇改善加算(1)

2023年度 2024年度  
【月別別数】  
【利用時間別件数】

### ① 事業内容（2023 年度総括）

訪問介護事業課として訪問介護、訪問型独自サービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護・重度訪問介護、有償日常生活支援サービス、サービス付き高齢者向け住宅アザレアンの運営。

1.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる1年にします

- ・運営理念、スローガン、行動規範を意識し業務を遂行しました。
- ・内部研修、外部研修ともにリモートと動画視聴で参加しました。
- ・職員間の相互理解を深め、助け合いながら働きやすい職場作りを心掛けました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

- ・ご利用者様、ご家族様の立場に立ち、専門職として良質なサービス提供に努めました。
- ・ご利用者様には常に笑顔で接し、良好な関係を築けるよう努めました。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・9月と3月に医療・介護連携推進会議を開催し、地域の方にもご参加いただきました。
- ・つくし区の回覧板、地区行事のお知らせなどをいただき、地域の情報収集に努めました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・訪問介護・・・目標訪問件数に対して 82%
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・・・目標登録数に対して 71%
- ・居宅介護・重度訪問介護（障がい）・・・目標訪問件数に対して 100%
- ・サービス付き高齢者向け住宅アザレアン・・・目標稼働率に対して 94.6%

### ③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・訪問介護全体の収支では支出を抑えたことで実績での運営は安定していましたが、介護保険収入を伸ばすことができず予算での目標は達成できませんでした。
- ・慢性的に職員の高齢化と人材不足が課題となっています。
- ・サ高住では同時期に2名の退居者がいたことで新規入居者の獲得に苦慮しています。

### ④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

- ・2024 年度の具体的行動計画を実践し、ご利用者様・ご家族様に満足していただけるサービス提供に努めます。
- ・職員の補充、職員の体調管理、業務の効率化を図ります。
- ・サ高住では空室を解消し 100%の稼働を目指します。

① 事業内容（2023 年度総括）

- ・新規利用者確保を掲げ事業運営を行いました。訪問介護では 1 日平均 25 件の目標に対し達成率は 82%でした。障がい福祉サービスでは月平均 60 件の目標に対し達成率は 100%でした。
- ・訪問介護では新規利用者 24 名でしたが、施設入所されたご利用者様が例年になく多かった年でした。障がい福祉サービスでは、新規利用者が 3 名増え、入院等も無く皆様に 1 年を通し継続的なサービスをご利用いただけました。

1.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします

人員不足の多い中、職員が個々の能力を発揮し、お互いに助け合いながらサービス提供を続けられました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

常にご利用者、ご家族の立場になり真心を込めたサービス提供ができました。私達職員も、ご利用者、ご家族からの温かい優しさに包まれた年でした。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、質の高いサービスを提供できるよう努める事ができました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・訪問介護 目標 1 日平均 25 件に対する達成率 82%
- ・障がい福祉サービス 目標月平均 60 件に対する達成率 100%

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・引き続き、他事業所との信頼関係を大切にし、新規ご利用者様の獲得に努め、目標達成を目指します。

④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

- ・訪問介護…目標 1 日平均 23 件を目指します。
  - ・障がい福祉サービス…目標月平均 100 件を目指します。
1. 職員が個々の能力を発揮し、お互いに切磋琢磨しながら成長していきます。
  2. 「理解・感謝」を意識し「ありがとう」を言葉にして伝えていきます。
  3. 地域の皆様のお声と繋がりをこれからも大切にし、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、質の高いサービスを提供してまいります。

2023年度 訪問介護月別統計表 (要介護度別・サービス別回数) ※目標 1日平均 25件

	4月 (1日平均 23件) 達成率 92%					5月 (1日平均 18件) 達成率 72%					6月 (1日平均 17件) 達成率 68%					7月 (1日平均 19件) 達成率 76%									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0
要支援 1	2	—	—	—	8	2	—	—	—	9	2	—	—	—	7	2	—	—	—	9	2	—	—	—	9
要支援 2	3	—	—	—	12	3	—	—	—	12	3	—	—	—	14	3	—	—	—	12	3	—	—	—	12
要介護 1	11	35	33	21	—	11	44	28	26	—	2.2	11	51	31	25	—	2.1	12	61	35	26	—	2.1		
要介護 2	11	133	36	23	—	10	113	35	16	—	—	8	43	26	13	—	—	9	47	21	18	—	—		
要介護 3	6	116	3	17	—	6	75	3	17	—	—	8	78	1	18	—	—	8	80	9	15	—	—		
要介護 4	2	77	0	0	—	30.8%	3	26	0	0	—	35.0%	3	50	0	0	—	37.5%	2	83	0	0	—	36.6%	
要介護 5	4	161	9	0	—	(26.3)	5	132	10	14	—	(25.6)	4	86	8	13	—	(30.8)	5	141	9	13	—	(39.0)	
合計	39	522	81	61	20	684	40	390	76	73	21	560	40	330	66	69	21	486	41	412	74	72	21	579	
前年同月	38	498	111	63	16	688	39	426	85	70	51	632	39	409	87	76	53	625	41	440	86	72	35	633	

	8月 (1日平均 17件) 達成率 68%					9月 (1日平均 21件) 達成率 84%					10月 (1日平均 20件) 達成率 80%					11月 (1日平均 19件) 達成率 76%									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	1	—	—	—	2	1	—	—	—	4	1	—	—	—	2	1	—	—	—	5	1	—	—	—	5
要支援 1	2	—	—	—	7	2	—	—	—	7	3	—	—	—	11	3	—	—	—	8	3	—	—	—	8
要支援 2	3	—	—	—	15	3	—	—	—	19	2	—	—	—	13	3	—	—	—	21	3	—	—	—	21
要介護 1	12	33	29	31	—	2.0	13	91	26	26	—	2.0	13	43	23	35	—	1.9	11	41	21	42	—	1.8	
要介護 2	8	53	23	20	—	—	7	48	23	20	—	—	11	89	26	26	—	—	11	94	26	26	—	—	
要介護 3	7	67	4	18	—	—	6	122	8	18	—	—	6	125	9	15	—	—	6	123	10	17	—	—	
要介護 4	2	79	0	0	—	33.3%	5	136	0	0	—	35.0%	3	145	0	0	—	28.5%	2	83	0	0	—	25.6%	
要介護 5	4	141	9	0	—	(37.5)	3	55	6	0	—	(26.3)	3	55	4	0	—	(32.5)	2	49	0	0	—	(28.2)	
合計	39	373	65	69	24	531	40	462	63	64	30	619	42	457	62	76	26	621	39	390	57	85	34	566	
前年同月	40	473	73	70	59	675	38	451	80	72	22	625	40	458	82	74	13	627	39	428	91	67	10	596	

	12月 (1日平均 23件) 達成率 92%					1月 (1日平均 23件) 達成率 92%					2月 (1日平均 23件) 達成率 92%					3月 (1日平均 23件) 達成率 92%									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	1	—	—	—	4	1	—	—	—	5	1	—	—	—	4	1	—	—	—	0	1	—	—	—	0
要支援 1	3	—	—	—	8	3	—	—	—	9	2	—	—	—	6	3	—	—	—	10	3	—	—	—	10
要支援 2	2	—	—	—	17	2	—	—	—	8	1	—	—	—	8	1	—	—	—	9	1	—	—	—	9
要介護 1	12	49	19	40	—	1.8	11	31	6	41	—	1.9	9	24	1	32	—	2.2	10	50	0	35	—	2.1	
要介護 2	11	82	24	27	—	—	15	123	42	24	—	—	10	59	32	15	—	—	12	84	29	17	—	—	
要介護 3	6	130	11	20	—	—	6	117	8	18	—	—	8	135	23	19	—	—	8	115	25	21	—	—	
要介護 4	3	174	0	0	—	26.8%	2	91	0	0	—	25.6%	3	123	0	0	—	37.8%	3	132	0	0	—	35.0%	
要介護 5	2	47	0	0	—	(25.6)	3	166	0	0	—	(26.3)	3	169	0	0	—	(21.6)	3	178	0	0	—	(31.6)	
合計	41	525	54	87	29	695	43	528	56	83	22	689	37	510	56	66	18	650	40	559	54	73	19	705	
前年同月	39	432	94	73	49	648	38	446	97	63	20	626	37	381	83	61	15	540	38	462	73	74	16	625	

2023年度 訪問介護事業報告(県指定)

【介護保険】

2024. 3. 31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	81	73	74	75	78	73	74	71	72	75	67	67
(総合事業)	7	7	7	7	8	9	9	10	9	9	8	8
(介護給付)	74	66	67	68	70	64	65	61	63	66	59	59
実利用者数	39	40	40	41	39	40	42	39	41	43	37	40
(総合事業)	5	5	5	5	6	6	6	7	6	6	4	4
(介護給付)	34	35	35	36	33	34	36	32	35	37	33	36
要介護重度者数	12	14	15	15	13	14	12	10	11	11	14	14
要介護重度者率(%)	30.8%	35.0%	37.5%	36.6%	33.3%	35.0%	28.5%	25.6%	26.8%	25.6%	37.8%	35.0%
総利用回数	684	560	486	579	531	619	621	566	695	689	650	705
要介護重度者利用回数	383	277	254	350	318	340	324	282	382	400	469	471
要介護重度者利用率(%)	56.0%	49.5%	52.3%	60.4%	59.8%	54.9%	52.3%	49.8%	55.0%	58.0%	72.1%	66.8%
サービス提供時間	387	334	304	356	323	351	370	351	386	372	517	378
サービス提供責任者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(介護福祉士)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(ヘルパー2級)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護員数	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21
(介護福祉士)	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14
(ヘルパー1級)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(ヘルパー2級)	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
会議・研修参加回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

2023年度 ヘルパー稼働明細表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計					
登録者数	81		73		74		75		78		73		74		71		72		75		67		67							
(総合事業)	7		7		7		7		8		9		9		10		9		9		8		8							
(介護給付)	74		66		67		68		70		64		65		61		63		66		59		59							
高利用者数	39		40		40		41		39		40		42		39		41		43		37		40							
(総合事業)	5		5		5		5		6		6		6		7		6		6		4		4							
(介護給付)	34		35		35		36		33		34		36		32		35		37		33		36							
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比																						
訪問サービスⅠ	20	3%	21	4%	21	4%	21	4%	18	3%	21	3%	17	3%	17	3%	12	2%	18	3%	10	2%	10	1%	10	1%	206	2.8%		
訪問サービスⅡ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	1%	9	1%	9	1%	17	3%	17	3%	4	1%	8	1%	9	1%	9	1%	79	1.1%		
訪問サービスⅢ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体介護①	284	42%	226	40%	172	35%	201	35%	207	39%	259	42%	230	37%	161	28%	271	39%	284	41%	240	37%	246	35%	2781	37.7%				
身体介護①.夜間	39	6%	34	6%	46	9%	57	10%	55	10%	56	9%	58	9%	56	10%	97	14%	90	13%	78	12%	100	14%	786	10.4%				
身体介護①.昼夜	4	1%	0	0%	1	0%	0	0%	2	0%	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	11	0.1%		
身体介護①.2人夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体介護①	152	22%	100	18%	66	14%	82	16%	58	11%	111	18%	137	22%	141	25%	122	18%	107	16%	117	18%	163	23%	1366	18.5%				
身体介護①.夜間	15	2%	6	1%	5	1%	5	1%	9	2%	3	0%	2	0%	1	0%	1	0%	19	3%	42	6%	20	3%	128	1.7%				
身体介護①.昼夜	8	1%	3	1%	3	1%	12	2%	8	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	35	0.5%		
身体介護①.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	4	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	5	1%	0	0%	11	0.1%				
身体介護①.2人夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	0.1%		
身体介護②	19	3%	20	4%	35	7%	35	6%	28	5%	23	4%	30	5%	31	5%	34	5%	25	4%	26	4%	29	4%	335	4.5%				
身体介護②.夜間	1	0%	1	0%	2	0%	10	2%	4	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	18	0.2%		
身体介護②.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0.0%
身体介護②	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体介護③	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活①	55	8%	55	10%	50	10%	56	10%	48	9%	43	7%	36	6%	36	6%	32	5%	36	5%	35	5%	36	5%	518	7.0%				
身体1生活①.夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活①.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活②	9	1%	7	1%	6	1%	7	1%	7	1%	7	1%	11	2%	8	1%	8	1%	7	1%	9	1%	7	1%	93	1.3%				
身体1生活②.夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活②.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活③	9	1%	8	1%	10	2%	10	2%	10	2%	13	2%	15	2%	13	2%	14	2%	12	2%	11	2%	9	1%	134	1.8%				
身体1生活③.夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体1生活③.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体2生活①	8	1%	6	1%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	15	0.2%		
身体2生活①.夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体2生活②	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	2	0%	4	0.1%		
身体2生活②.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体2生活③	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体3生活①	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体3生活②	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
生活援助②	10	1%	23	4%	21	4%	23	4%	14	3%	17	3%	13	2%	24	4%	29	4%	26	4%	15	2%	17	2%	232	3.1%				
生活援助②.夜間	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
生活援助②.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
生活援助③	51	7%	50	9%	48	10%	49	8%	55	10%	47	8%	63	10%	61	11%	58	8%	57	8%	51	8%	56	8%	646	8.7%				
生活援助③.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
訪問給付数	684	100%	580	100%	486	100%	579	100%	531	100%	819	100%	821	100%	566	100%	695	100%	689	100%	650	100%	705	100%	7385	100%				
緊急時対応加算	13		12		5		22		15		14		13		14		11		20		17		22		178					
初回加算・社会事業	0		0		0		0		1		1		1		1		0		1		0		0		5					
初回加算・介護	2		3		1		2		2		3		2		3		1		3		2		2		25					
同一建物加算	4		4		6		6		6		6		7		5		7		6		6		6		69					
増幅向上連携加算	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0					

① 事業内容（2023 年度総括）

・新規利用者確保目標を定め事業運営を行いました。月平均 9 名の利用者の目標に対し達成率は 71%でした。

・サービス利用後特養に入所されたご利用者もいっしょに、サービス利用により長く在宅生活を継続して頂けたと思えました。

1.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします

人員が足りなくなる中、各自が持てる能力を生かし協力し合う事でサービス提供を続ける事ができました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

ご利用者様の状態に応じ、適切なケアを心を込めて提供することでご利用者様の笑顔を引き出し、スタッフも優しさに包まれる事ができました。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

医療介護連携推進会議を再開し、地域の方々とも直接意見交換できる機会を持つ事ができました。今後も継続し密な関係構築に努めます。

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

目標月平均 9 名に対する達成率は 71%

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

・これからもケアマネ、訪看並びに外部の事業所への情報発信を続け、新規ご利用者様の確保に努めます。

・地域の一員として交流を深めていきます。

④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

・目標登録者数 8 名を目指します。

1.職員同士お互いの長所を引き出せる様尊重し合い切磋琢磨していきます。

2.笑顔で「ありがとう」の言葉を交わせるよう感謝の心を持ってご利用者様と真摯に向き合っていきます。

3.医療介護連携推進会議等を通じ顔の見える関係の強化に努めます。

## 2023年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(連携型) 事業報告

24時間型ホームヘルプステーションアザレアン

### 1.【登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録数 (内訪問看護利用者)	8 (3)	8 (3)	7 (2)	7 (2)	7 (2)	6 (2)	6 (3)	6 (3)	6 (2)	6 (3)	5 (2)	5 (1)
実利用者	7	7	7	6	6	5	6	5	5	6	5	5
新規利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
解約者数(長期入院者)	(1)	1	0	(1)	1(1)	1	0	(1)	(1)	1	1	1
前年同月登録数	6	7	7	7	8	8	8	8	9	10	9	8

### 2.【介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護 1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
要介護 2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 4	4	4	4	4	4	3	2	2	3	3	2	1
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均介護度	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3	2.5	2.5	3	3	2.8	2.6

### 3.【派遣実績】(24時間対応)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期巡回	利用者数	7	7	7	6	6	5	6	5	5	6	5	5	70
	実施回数	696	709	691	621	467	454	510	483	467	623	423	321	6465
随時対応	利用者数	2	0	1	2	1	1	2	1	1	1	0	0	12
	実施回数	2	0	9	4	5	1	3	1	1	1	0	0	27

### 4.【時間別定期巡回訪問回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝(6:00～8:00)	146	150	147	147	121	110	127	120	112	139	104	86	1509
午前(8:00～12:00)	175	180	195	152	95	86	92	90	90	144	103	72	1474
午後(12:00～18:00)	263	264	239	229	173	178	205	183	184	200	117	104	2339
夜間(18:00～22:00)	82	84	80	62	57	50	55	60	50	116	99	59	854
深夜(22:00～6:00)	30	31	30	31	21	30	31	30	31	24	0	0	289
合計	696	709	691	621	467	454	510	483	467	623	423	321	6465

### 5.【時間別随時対応件数】

( )内身体介護訪問回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝(6:00～8:00)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護訪問件数	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
午前(8:00～12:00)	1	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	7
身体介護訪問件数	(1)	(0)	(3)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)
午後(12:00～18:00)	4	0	3	3	5	1	1	1	1	0	0	0	19
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(11)
夜間(18:00～22:00)	0	0	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	7
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)
深夜(22:00～6:00)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(2)
コール対応合計	7	1	11	4	7	1	3	2	1	1	0	0	38
身体介護訪問合計	(2)	(0)	(9)	(4)	(5)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(26)

## 2023年度 有償日常生活支援サービス

ホームヘルプステーションアザレアン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	6	4	5	4	3	4	3	4	3	2	2	2	42
実施回数	14	5	8	5	5	6	5	6	3	2	2	11	72
総利用時間	16.25	5.00	7.25	5.00	5.00	6.25	5.00	6.25	3.50	2.75	5.25	6.00	73.5

## 2023年度 障害福祉サービス

ホームヘルプステーションアザレアン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	6	7	6	7	6	7	7	7	6	6	75
実施回数	79	96	97	101	100	107	115	111	112	114	107	113	1252
総利用時間	68.25	78.75	79.75	84.75	82.25	86.25	90.50	92.00	84.75	91.25	86.75	86.25	1011.5

① 事業内容 (2023 年度総括)

2023 年度、サ高住アザレアンでは稼働率 100%を目標に掲げ事業運営してきました。

1.全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします

職員間、入居者様に対しても気持ちの良い挨拶と感謝の気持ちを伝えています。

お互い様を合言葉に良好な職場環境の構築に努めました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

入居者様のご希望やご意見に真摯に向き合い、快適に過ごして頂くよう支援しました。

ご家族が気兼ねなく面会ができ入居者様と過ごせる時間を大切にしました。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

地域の回覧板、地域通信などを入居者様に提供しています。

訪問介護と合同で介護・医療連携推進会議を年 2 回開催し、地域の方にも参加していただきました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率 (数値) 及び成果について

・稼働率は 94.6%で空室期間が 325 日間ありました。

・2023 年度 入居者:3 名 (自宅から 3 名)

2023 年度 退居者 3 名 (特養へ 1 名、入院退居 1 名、自宅へ 1 名)

2023 年度 3 月末時点:平均年齢 87.7 歳 平均介護度 1.6 平均在所期間 45 ヶ月

③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

・空室期間が 325 日間あり目標は達成できませんでした。次年度の課題として改善していきます。

・今年度は入居者様の入院が多い 1 年でした。引き続き体調確認をしっかり行ないます。

④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

・職員一人一人が事業計画を念頭に置き、目標達成に向けて取り組んでまいります。

・空室期間の短縮を図るために空室情報の提供をスピーディーに行ないます。

・地域の方との交流が図れるよう計画していきます。

2023年度 サービス付き高齢者向け住宅 アザレアン

R5年度	入居者	入院	入退去	訪問診療		往診		有償				行事	イベント	担当者会議(回)	認定調査(人)	申し込み見学者(人)	入退去
				内科	歯科	洗濯	買い物代行・送迎他	合計	受診同行								
									1時間	2時間							
4月	14	2	0	1(5名)	0	0	0	56	6	62		一般検査			1	1	
5月	14	2	0	1(5名)	0	0	0	41	4	45	1	エレベーター点検		1			
6月	14	0	0	1(5名)	0	0	0	43	6	48		定期清掃	5名ワクチン接種		2	1	
7月	14	1	0	1(5名)	0	0	0	57	5	62			七夕飾り	1		2	
8月	14	1	退1	1(5名)	0	0	0	46	4	50		エレベーター点検	花火鑑賞			1	1
9月	14	0	入1	1(5名)	0	0	0	51	4	55		消防点検	避難訓練		1		1
10月	14	1	0	1(5名)	0	0	0	61	6	67		定期清掃	エアコン分解クリーニング				
11月	14	1	0	1(5名)	0	0	0	66	5	71		エレベーター点検			1	1	
12月	14	1	0	3(6名)	0	0	0	77	12	89	1		クリスマス	2		1	
1月	15	3	入1	3(6名)	4	0	0	62	6	68			お正月				1
2月	15	3	退1	3(6名)	4	0	0	51	3	54		消防点検		1		1	1
3月	14	2	退1 入1	2(5名)	0	0	0	45	4	49		エレベーター点検	避難訓練			1	2

3月31日付 男5女9 介護度 自立3 要支援①0 要支援②1 介護①1 ②6 ③2 ④1 ⑤0 (平均 要介護1.6)

平均87.7歳

## サービス付き高齢者向け住宅アザレアン

2023年度

	ケアマネ		ヘルパー		訪問 看護	小規模 多機能	通 所		デイケア	訪問リハ	訪問マツ サージ	利用無し
	外部		ヘルパー				外部	内部				
4月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	3ヶ所2人	外部	2		1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
5月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	3ヶ所2人	外部	2		1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
6月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	3ヶ所2人	外部	2		1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
7月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	3ヶ所2人	外部	2		1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
8月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	3ヶ所2人	外部	2		1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
9月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	4	2		外部	3ヶ所3人	外部	1		1
			ヘルパー	5		内部	1ヶ所7人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
10月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	2		外部	2ヶ所2人	外部			1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所7人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
11月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	5	1		外部	2ヶ所2人	外部			1
			ヘルパー	4		内部	1ヶ所7人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
12月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	10	定巡	4	1		外部	2ヶ所2人	外部			1
			ヘルパー	6		内部	1ヶ所7人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所0人				
1月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	10	定巡	5	2		外部	2ヶ所2人	外部			1
			ヘルパー	5		内部	1ヶ所7人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
2月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人				
	内部	10	定巡	4	1		外部	2ヶ所2人	外部			1
			ヘルパー	5		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				
3月	外部	1	ヘルパー	1			外部	1ヶ所1人				
	内部	9	定巡	3			外部	2ヶ所3人	外部			1
			ヘルパー	5		内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立	3				外部	1ヶ所1人				2	
	包活	1	ヘルパー	1			内部	1ヶ所1人				

### ① 事業内容（2023 年度総括）

小規模多機能型課として、真田地域に大畑の家、上田地域に新田の家 2 か所で事業運営を行いました。

1. 全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします。
  - ・職員一人ひとりが自らの目標に添って、研修への参加に努めました。
  - ・職員間でのコミュニケーションを密にする為、常に感謝の心を持ち業務に取り組みました。
2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます
  - ・ご利用者様のつぶやき、行動を見逃さないよう、寄り添ったケアを実践しました。
  - ・四季折々に合わせた行事、外出、食事を提供し、ご利用者様に楽しんでいただきました。
3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します。
  - ・2 か月毎、運営推進会議を実施、事業所の活動報告をし、推進委員の皆様からご意見、ご感想をいただき、日々の事業運営に活かす事が出来ました。
  - ・地域行事（環境整備、お祭り、サロン等）に参加し、地域の皆様との交流が出来ました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・大畑の家・・・ 目標登録人数（18 名）に対し 88%
- ・新田の家・・・ 目標登録人数（19 名）に対し 84%

### ③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・ご利用者様の入院、入居施設へのサービス移行等の要因により、登録者数、収入増加に至りませんでした。
- ・新田の家の新規利用者数 2 件と少なく、営業活動の見直しが急務です。
- ・地域住民の方々参加の避難訓練を実施することが出来ませんでした。

### ④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

- ・2024 年度の具体的行動目標、事業計画をもとに、ご利用者様ご家族様が安心した生活を送れるよう、丁寧なサービス提供に努めます。
- ・新規獲得の為の各事業所の月間プログラム、季節ごとのチラシを作成し、関係各所を定期的訪問します。目標登録者数達成を目指します。

前年度対比(左)R5(右)R4		R5年度営業月数												平均														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計													
継続利用者数	181	214	195	219	170	221	190	210	196	205	148	198	176	177	157	123	145	202	124	159	128	171	132	191	1942	2290	162	191
訪問数	284	517	293	537	272	480	304	453	322	329	312	318	337	298	295	288	264	346	255	249	226	261	273	309	3437	4985	286	365
一日平均利用者数	15.5	24.5	15.9	24.5	14.8	23.4	16.1	21.5	16.8	17.3	15.4	17.3	16.7	15.4	15.3	13.7	13.3	17.7	12.2	13.3	12.8	15.6	13.1	16.2	177.9	221	15	18
登録者数	15	20	15	21	16	20	15	19	15	18	16	17	16	16	15	15	14	16	14	16	14	16	14	16	179	210	15	18
介護予防	3	5	3	5	3	5	3	6	3	5	3	5	3	4	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	36	52	3	4.3
新規利用者・利用再開者	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	7	0	1
入居者	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7	7	1	1
休止(終了)者	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	3	0	0
退治者	0	2	4	2	2	2	3	2	3	3	1	3	3	4	4	0	2	2	0	3	2	3	1	3	25	29	2	2
退治数	0	5	6	2	2	2	6	3	3	3	3	3	5	2	6	0	2	2	0	5	3	5	1	3	37	35	3	3
平均要介護度	1.6	1.9	1.9	1.9	2	1.9	2.1	1.7	2.1	1.7	2.1	1.5	2.1	1.6	2	1.6	1.7	1.6	2	1.6	2	1.6	2.2	1.7	23.8	154.7	2.0	12.9

新田の家

前年度対比(左)R4(右)R3		R6年度営業月数												平均														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計													
継続利用者数	136	222	152	226	137	195	140	193	135	200	130	202	166	220	163	169	171	146	138	128	137	112	149	129	1754	2142	146	179
訪問数	567	553	598	550	539	468	526	452	543	482	592	490	628	522	576	487	607	462	458	426	419	369	476	468	6469	5729	539	477
一日平均利用者数	23.4	26.1	24.3	25.2	22.6	22.3	21.5	21.0	21.9	22.2	22.1	23.1	25.7	24.1	24.8	22.0	25.2	19.6	19.4	18.0	20.3	17.2	20.6	19.4	271.9	260	23	22
登録者数	17	19	17	19	15	18	15	18	14	17	14	18	16	19	16	17	16	15	16	15	15	13	15	13	186	201	16	17
介護予防	3	5	3	6	3	6	3	5	3	5	3	5	3	5	2	4	2	3	3	3	3	3	2	3	33	53	3	4.4
新規利用者・利用再開者	3	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	3	1	0	0	0	0	2	0	2	0	2	1	17	6	1	1
入居者	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	2	0	0	1	2	1	1	7	8	1	1
休止(終了)者	0	0	2	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	0	1	0	2	1	12	6	1	1
退治者	0	3	2	2	2	3	1	3	2	3	1	1	2	2	2	3	1	1	1	3	3	1	4	2	21	27	2	3
退治数	0	7	2	5	3	7	1	6	2	6	1	2	2	5	6	5	4	1	5	4	12	1	13	3	51	52	4	4
平均要介護度	0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.4	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.4	2.2	2.6	2.5	2.5	27.2	30.6	2.3	3.4

大畑の家

① 事業内容(2023 年度総括)

- ・ご利用者様やご家族様の生活や希望を大切に、通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせたサービス提供を行いました。
- ・今年度の登録者平均は15名となり、目標人数の18名を下回ってしまいました。原因としては自宅での転倒骨折による入院、特養・老健といった施設への入所など、在宅生活の継続が困難になったことが挙げられます。
- ・ご利用者様に関する課題や職員の気づきなどについて、職員間で話し合う機会を設けたり、医療や地域の社会資源と連携をとったりして、在宅生活が継続できるように取り組みました。
- ・経営改善の研修に係長以上の者が参加。チラシや活動カレンダーといった広報活動、認知症のトータルケアなどについて学び、実践しました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる1年にします
  - ・行動規範である「6つの実践」を実践します。 …100%
  - ・職員が得意としていることを業務の中で活かします …100%
 様々な行事の開催、季節を感じられる飾りつけの工作、おいしい食事の提供などを行いました。
2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます
  - ・利用者様、職員、関係者様などからのお話に耳を傾けます …80%
  - ・職員の気づきを大切に、気づきに対して対応します …80%
 多くの方々と話をする機会を持つことができました。ですが、事業所会議やカンファレンスなどの開催が滞ってしまうこともありました。
3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します
  - ・「災害時の避難所」として、非常時には事業所をオープンにしていきます。 …50%
  - ・地域とつながりを持ち、よろず相談なども受け付けます …50%
  - ・運営推進会議などを通じて地域の方々へ事業所の活動を周知 …80%
 新型コロナが5類になったこともあり、運営推進会議を再開することができました。サービス提供を通じて、地域の方と関わる機会もありました。

③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・職員ひとりひとりが得意としていることを業務に活かすこと
- ・定期的に事業所会議を開催し、職員間で話し合う機会を持つこと
- ・地域の行事・活動への参加
- ・住民参加型の防災訓練の実施
- ・感染症対策の継続（新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス等）

④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

- ・利用登録者18名に向けて、①利用者の定着、②新規利用者獲得の二つの面からアプローチをします。
1. 利用者の定着：認知症のトータルケアの実践、アセスメントによるサービス内容の見直し・調整、ニーズに応じた支援、多職種連携など
  2. 新規利用者の獲得：空き情報の開示、挨拶回り、広報活動、連携会議での情報交換など
    - ・行事、外出、アクティビティなどを企画・実施して、利用者様と楽しみを共有できる機会を持ちます。
    - ・地域とのつながり（よろず相談、防災訓練、運営推進会議など）を持ちます。

### ① 事業内容 (2023 年度総括)

- ・ご利用者様の暮らしやこだわりを大切に通り、訪問、宿泊を柔軟に組み合わせたサービス提供を行いました。
  - ・今年度の登録平均は 15 名となり目標の 19 名には達しませんでした。ご利用者様 5 名が施設入居等他の事業所へ変更となりました。サービスの変更がスムーズとなるようケアマネが情報提供を行いました。新規のご利用者様は 3 名となっており引き続き減少傾向です。今年度、新規獲得の為の対策が必須となっております。
  - ・介護度の適性の為、区分変更を行いサービス内容の充実を図りました。
  - ・今年度は、インフルエンザ・コロナウィルスの蔓延も防ぎ、感染対策を徹底し運営が遂行できました
1. 全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします
    - ・相互理解を深めコミュニケーションを意識することで、お互いの思考や役割を尊重し仕事の連携を円滑に進める努力をしました。
  2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます
    - ・ご利用者の笑顔を引き出す、レクリエーション・イベント風呂・外出支援等を開催することでご利用者、職員全員が笑顔に包まれました。
  3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します
    - ・運営推進会議を 6 月より再開。数年ぶりの開催ということで地域の皆さんと情報の共有が出来ました。身近で起きている事を直接お聞きすることで地域との繋がりを感じられました。
    - ・コロナ化の為、地域で開催される行事への参加が難しい状況でしたが、2023 年度は地域で開催のサロンへの参加することが出来ました。今後は、積極的に地域の活動に参加し交流を深めていきます。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成度 (数値) 及び成果について。

- ・登録目標 19 名に対し、平均登録者 15 名 達成率は 84%

### ③ 改善すべき事項 (未達成・継続事項)

- ・ご利用者に安心して利用していただける為にも、日々行っている感染対策は継続して実施していきます。

### ④ 目標とする事項 (2024 年度事業計画)

- ・登録数 18 名に向けて、事業所の P R ・営業活動を強化し安定した経営を目指します。
- ・地域の方々と防災訓練を実施し、有事に備え防災意識を高めます。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

相談支援事業課として居宅介護支援センターアザレアン、各事業所所属の介護支援専門員の 2 つの事業の運営。

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

・介護支援専門員は、自己研鑽が必須であるため、年間研修計画を個人で立て多くの研修へ参加しています。更新研修を 5 名の介護支援専門員が資格の更新をしました。そして、主任介護支援専門員の資格を 2 名が新たに取得されました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

・利用者様の思い、意向に寄り添い自立に向けたサービスの提案、ケアマネジメントを一人ひとりの自立に向けたケアプランの樹立を行い、適切な介護サービス等の利用が出来るよう支援しています。

#### 3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

・地域、医療、介護、予防との他職種連携を強化し在宅や施設に向けて公正中立な立場に立ち相談支援を行いました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

居宅介護支援センターアザレアン・・・100%（特定事業所加算Ⅱの要件取得）

各事業所所属の介護支援専門員・・・100%（年間計画 4 回開催）

### ③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

令和 6 年度は制度改正がありました。適正に運用できるよう相談支援事業課として連携を強化していきます。

### ④ 目標とする事項（2024 年度事業計画）

相談支援事業課として、合同の研修会、相談支援、情報の共有や連携を行い、ケアマネジメントの質の向上を図ります。

ご利用者様やご家族様、地域からも信頼される事業所となるように努めて行きます。

① 事業内容(2023 年度総括)

- ・2023 年度は 9 名のケアマネで月平均 255 人の登録者数、うち請求件数は 210 件でした。前年度に比べ登録者数は微減でしたが、請求件数が月 10 件減っています。介護保険サービスを利用されない方や老健に入所されている方が多く見られました。
- ・介護予防ケアマネジメントは 7 か所の包括から、月平均 23 件の委託を受け、年々増加傾向です。
- ・各自で研修計画を立て研修に参加しています。障害サービスとの連携やヤングケアラー問題等研修内容も幅広く、近年ケアマネに求められる役割も変化しています。
- ・介護支援専門員の資格は更新制です。2023 年度も 2 名が更新研修を受け資格を更新しました。また、2 名が新たに主任介護支援専門員の資格を取得しました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・法令を遵守し適切なケアマネジメントを行った結果、特定事業所加算Ⅱの要件を 100%達成し、2023 年度も継続して取得することができました。
- ・予算に対しての介護保険収入実績は 91.8%でした。年度初めは堅調でしたが、下半期は大きく下がっています。新規相談・登録数は昨年同様でしたが終了となる方が昨年より多かったです。法人のショートステイを利用されていた方が老健入所等を選択されたことも影響しています。
- ・介護保険収入以外の収入（介護予防ケアマネジメント委託料・認定調査委託料）は予算を大幅に上回っていることから、地域のニーズは減っていないと考えられます。

③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・2023 年度は残念ながら定員の関係からご依頼いただいてもお断りすることが数回ありました。今後も極力断らない姿勢で対応したいと思います。
- ・ご利用者様・ご家族様の変化に合わせた対応、働き方が求められています。職員が柔軟に働ける職場環境の整備、職場内の情報共有を考えていきます。

④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・地域から信頼される事業所を目指し研鑽を重ね、ケアマネジメントの質の向上を図ります。
- ・適切な事業所運営を行い、特定事業所加算Ⅱの取得を継続します。

2023年度 性別・年齢別

年齢	2024.3.31現在										合計
	~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	
男	0	2	1	11	11	19	22	21	8	1	96
女	1	3	5	6	14	30	40	41	28	3	171
合計	1	5	6	17	25	49	62	62	36	4	267



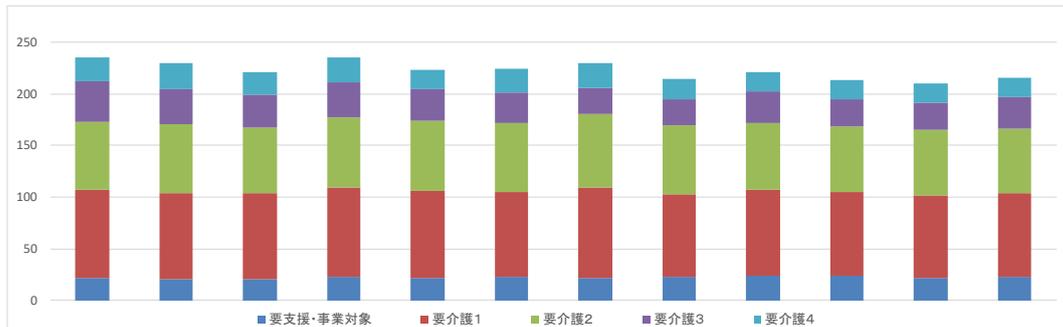
居宅介護支援センターアザレアン 2023年度業務実績（単位：件） ケアマネ人員9名（2024年3月現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計	月平均
月別登録者	254	253	256	253	254	250	251	244	244	239	232	225	2,955	246.3
実績（請求）	224	215	213	217	217	213	217	202	206	200	197	199	2,520	210.0
介護予防委託数	22	21	21	23	22	23	22	23	24	24	22	23	270	22.5
認定調査	7	6	4	3	7	4	9	12	12	10	7	6	87	7.3
課題分析調査	4	3	4	4	2	9	3	4	1	2	2	3	41	3.4
管理訪問	198	222	210	181	217	214	177	177	222	207	190	208	2,423	201.9
その他の訪問	66	130	138	117	115	138	143	95	127	108	124	137	1,438	119.8
通院同行	14	16	15	15	22	16	10	7	18	21	17	9	180	15.0
サービス担当者会議	29	25	44	27	46	31	31	13	38	33	33	36	386	32.2
その他の会議	1	1	3	3	1	3	5	1	1	0	1	0	20	1.7
苦情処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
研修	8	3	5	3	1	9	12	9	2	2	7	0	61	5.1
情報収集	235	179	208	181	184	181	138	162	151	154	165	141	2,079	173.3
相談業務	76	72	77	82	88	80	69	71	105	107	77	93	997	83.1
代行申請	19	17	29	28	21	16	15	31	14	18	15	18	241	20.1
新規登録	7	4	2	8	5	9	13	7	14	7	4	8	88	7.3
終了（内訳以下参照）	2	6	6	10	4	10	9	12	2	14	13	15	103	8.6
①死亡	1	2	2	5	4	6	2	6	2	5	8	2	45	3.8
②施設入所（特養・療養・有料ホーム・他）	1	4	3	2	0	4	4	4	0	5	3	10	40	3.3
③その他（GH・小規模・転出・居宅変更）	0	0	1	3	0	0	3	2	0	4	2	3	18	1.5

2023年度 要介護状況（ケアプラン作成）

2024.3.31現在

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援・事業対象	22	21	21	23	22	23	22	23	24	24	22	23	270
要介護1	85	83	83	86	84	82	87	80	83	81	80	81	995
要介護2	66	67	63	68	68	67	71	67	65	63	63	62	790
要介護3	39	34	32	34	30	29	26	25	30	27	26	31	363
要介護4	23	25	22	24	19	23	24	19	19	18	19	18	253
要介護5	11	10	9	10	11	11	12	13	11	9	8	8	123
合計	246	240	230	245	234	235	242	227	232	222	218	223	2,794



要介護3以上(中重度者)の割合は33.38%

### ① 事業内容(2023 年度総括)

- ・各事業所所属の介護支援専門員では、施設事業課、小規模多機能型事業課、認知症対応型事業課、相談支援事業課からの介護支援専門員と計画作成者が一緒に参加して看取りのケアプランについて学びを深めてきました。

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる1年にします

- ・介護支援専門員の更新研修を3名が受けて資格を更新されました。
- ・「小規模多機能ケアマネジメントの理解」について、小規模多機能型事業課、居宅介護支援センターアザレアンとの合同で研修会(2月)への参加をすることが出来ました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

- ・利用者様が住み慣れた地域で最後まで尊厳をもって、その方らしく日常生活を送るために看取りのケアプランについて、認知症対応型事業所、小規模多機能型事業所から事例を参考に、課題や情報共有等を話し合い、学びを深める事が出来ました。

#### 3. 地域の一員として繋がり、地域貢献します

- ・利用者様が自立した日常生活を送るために、医療をはじめ、本人、家族、地域の方、多職種との連携を強化し支援できるように適切にケアマネジメントを行っています。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

- ・各事業所所属の介護支援専門員の会議開催・・・100%
- ・会議参加率・・・77%

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・各事業所所属の介護支援専門員と計画作成担当者と一緒に会議、勉強会へ参加が出来るよう、環境の整備を行い継続して行きます。
- ・定期的に会議を実施していく事で顔が見える関係性を築き、各事業所の抱えている課題や意見交換や情報共有を行い連携を図ります。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・令和6年度の年間計画を年4回の定期会議を開くことで、お互いの事業所との尊重し連携を図り法人の介護支援専門員として資質向上を図ります。
- ・ご利用者様が住み慣れた地域で自分らしく生活が継続できるように、情報共有を丁寧に行い適切なケアマネジメントケアマネジメント力を高めていきます。

医療連携部として、地域で在宅生活を送る療養者様や施設で生活する利用者様を専門的な角度から支えるための経営を行いました。（訪問看護ステーション真田の運営、各事業所に所属する看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士歯科衛生士）

1. すべての職員が新たな自分を発見し自らを高められる1年にします。
  - ・専門職としての知識をいかして、ひとりひとりが考え行動し、アザレアンにとどまることなく、地域全体を視野にいれ、地域に出て多職種とのネットワークの構築を行いました。
  - ・自立支援、重度化防止に向けて取り組み、住み慣れた地域で暮らすことができる地域づくりに努力してきました。また、利用者様だけでなくそのご家族や、施設の介護職の方が、安心できるよう各専門職の強みを生かしたサービスの提供と看取りの推進、24時間対応などの体制整備の推進を行いました。
  
2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます。
  - ・療養者様やご利用者様が日々笑顔で過ごせるよう、その人らしくを常に考え楽しく生きるための支援に取り組みました。
  - ・在宅、グループホームなどに出向き、ポジショニングや移乗動作のアドバイス、食事へのアドバイス、口腔状態のアセスメントなど専門職の知識をいかし関わることで重度化の予防や自立への支援に努めました。
  - ・多機関、多職種と協働し、チームの一員としてお互いに認め合い尊重すること、各職種が支え合い協力し合えるチームづくりを行いました。
  
3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します。
  - ・「さなだの福祉を考える会」の設立に伴い、地域の多様化するニーズに応えられるよう、学ぶ、考える場を提供し、地域に発信することで、安心して暮らせる町づくりに貢献しました。
  - ・感染防止対策や災害対策に対し、常に危機的意識を持ち、安全と安心した継続したサービスが提供できるよう職員の健康管理や環境整備に努めました。
  - ・住み慣れた地域で人生最期まで暮らすことができるような地域づくりに努めました。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

2023 年度は、4 月に職員 1 名（非常勤）、5 月に 1 名（常勤）の入職があり、職員が増えたことにより事業所の目標である終末期ケアの充実がさらに強みとなり事業展開を行ってきました。在宅での看取りが 23 名、グループホームでの看取りが 1 名と 24 名が在宅で看取ることができました。今まで以上に終末期ケアに力を注ぎ、利用者様やそのご家族に対し在宅での看取りのサポートをすることができました。

さらに、地域の医療機関との連携強化を図り、看取りの推進にも努力いたしました。

9 月からは、請求業務関係においては、繁雑化する業務を総務部にサポートしていただきながら業務展開を行ってきました。

訪問看護の多様化が進む中、今年度は延べ件数 4,482 件と昨年より 1,640 件の増加件数となり目標件数を大幅に上回ることができ収入額にもつながることができました。

地域にむけて、もっと訪問看護の認知度を高めるため、広報活動にも力を入れ、地域に根ざした訪問看護を目指してきました。

職員ひとりひとりが、住み慣れた地域で暮らし続けたいという利用者様の想いを大切に、笑顔でいられる時間を大切に寄り添う看護サービスの提供に努めました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率（数値）及び成果について

- ・契約者数 676 件 新規登録者数 67 件、終了者数 58 件 （前年度比 116.9%）
- ・実利用者数 601 件 （前年度比 126.8%）
- ・訪問延べ件数 4,482 件 （前年度比 157.7%）
- ・加算状況：緊急時訪問看護加算 96.8%、特別管理加算 34.1%、ターミナルケア加算 100.0%
- ・看取りケアの推進 在宅での看取り 24 件（終了者の 41.3%）
- ・ICT 化への推進 95%
- ・働きやすい環境づくり 80%
- ・業務の改善 60%
- ・地域への貢献 70%
- ・人材育成 70%
- ・グループホームとの連携 100%

#### 達成できた事項

- ・グループホームでの看取りの推進、カンファレンスへの参加、担当制の実施
- ・人材確保
- ・業務の見直しと分担（一部のみ）
- ・365 日 24 時間体制をいかした安心、安全な訪問看護の提供
- ・感染防止対策の徹底と訪問看護業務の継続
- ・働きやすい環境づくり
- ・看護学生の実習受け入れ

- ・退院時カンファレンス、担当者会議への参加
- ・地域の医療機関との連携
- ・地域の勉強会への参加

#### 未達成の事項

- ・ICT化における問題点と評価
- ・OT、看護師との連携会議
- ・事業所内での勉強会
- ・次世代を担う人材育成
- ・訪問看護の広報活動

### ③ 改善すべき事項（未達成・継続事項）

- ・効率化に向けた業務分担の見直し
- ・関係職種との連携強化
- ・請求業務及び事務業務の依頼継続

### ④ 目標とする事項(2024年度事業計画)

- ・2024年のトリプル改正に向けて、できる限り可能な加算をとり、利用者の確保と経営の安定を図る
- ・地域での看取りの推進及び緩和ケア認定看護師の強みを生かし看取りの強化
- ・グリーンケアの強化
- ・関係機関、関係職種や地域とのつながりの強化
- ・専門性をいかした訪問看護業務の推進
- ・業務継続に向けた取り組み強化の推進
- ・人材育成、勉強会の開催
- ・関係職種との連携強化
- ・地域で行う勉強会への参加

近年、利用者は医療依存度が高く、訪問看護利用期間も短縮してきています。

どんな状況であっても、安心して在宅生活を継続できるよう、必要な訪問看護サービスが継続的に提供できる体制を構築する必要があります。地域の様々なニーズに応えられるよう体制を整えや専門性を重視していかなければなりません。訪問看護としての役割は大きいと考えます。その期間の中で、利用者の気持ちに寄り添いやりたいことや希望がかなえられ、笑顔ある日々がすごせるよう、また、ご家族にとっても在宅での時間がしあわせな時間になるように、しっかりと向き合い、寄り添う看護が必要とされています。地域に必要なステーションの役割を考え、期待される事業所、選ばれる事業所をめざし、事業展開していきたいと思えます。

# 2023年度訪問看護ステーション真田【訪問看護】事業報告

(R5年4月～R6年3月)

## 【訪問看護】

### (1) 月別利用状況及び内訳

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
I.契約者数	53	49	53	54	57	57	63	61	58	60	56	55	676	56.3
II.実利用者数	48	49	48	48	49	53	62	53	52	50	43	46	601	50.1
III.新規利用者数	6	4	6	9	7	5	7	6	6	5	1	5	67	5.6
IV.終了者数	5	1	4	6	4	2	8	10	3	4	5	6	58	4.8
死亡	在宅看取り	3	0	3	2	0	2	5	3	2	2	0	23	在宅での看取り:22人
	入院	0	0	1	1	1	0	0	4	0	2	1	10	病院での死亡:10人
	施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	GHでの看取り:1人

### (2) 訪問延べ件数

(単位:件)

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	月平均
介護保険	163	158	138	131	154	176	178	164	179	167	160	164	1932	43.11%	161.0
医療保険	247	306	194	155	196	245	309	203	196	177	75	149	2452	54.71%	204.3
定期巡回訪問介護看護	9	13	11	8	7	6	6	7	3	10	6	1	87	1.94%	7.3
在宅中重度者受入加算	5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	11	0.2%	0.9
合計	424	478	344	295	358	428	494	374	378	354	241	314	4482	100%	373.5

### (3) 緊急時訪問状況

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
緊急時TEL件数	39	36	30	42	32	51	50	47	37	72	170	45	651	54.3
緊急時訪問件数	33	34	22	49	23	50	46	42	33	37	20	35	424	35.3

定期巡回訪問介護看護 緊急時TEL件数	4	7	1	2	0	2	0	0	0	3	1	1	21	1.8
定期巡回訪問介護看護 緊急時訪問件数	2	2	2	4	1	5	0	0	0	0	0	0	16	1.3

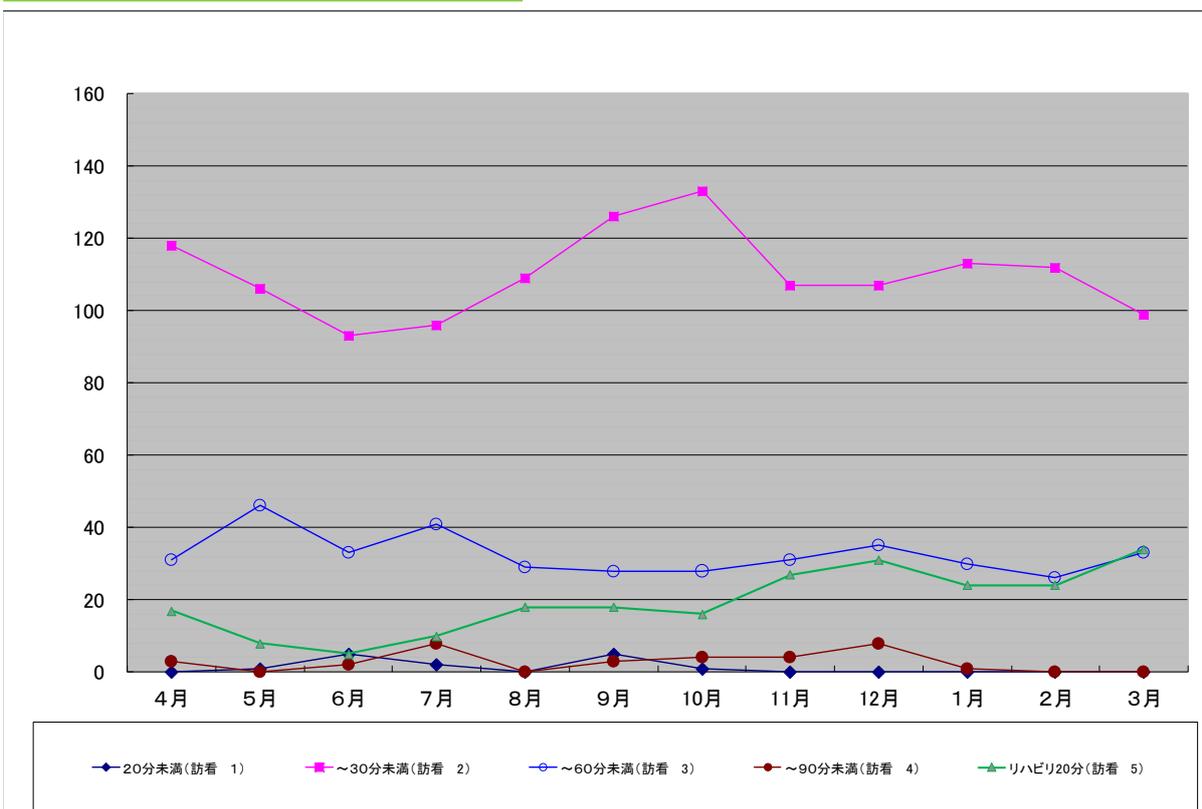
グループホーム医療連携 緊急時TEL件数	6	8	8	5	8	5	5	14	4	3	4	9	79	6.6
グループホーム医療連携 緊急訪問	8	4	5	5	7	2	3	9	4	2	4	2	55	4.6

### (4) 加算利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	構成割合
緊急時訪問看護加算	42	42	42	43	44	50	59	51	51	49	42	45	560	46.7	96.8%
特別管理加算	20	17	19	17	16	18	23	16	14	15	12	14	201	16.8	34.1%
ターミナルケア加算	3	1	3	2	0	2	4	3	2	2	0	1	23	1.9	
在宅中重度者受入加算	5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	11	0.9	

(5) 訪問時間別状況 <介護保険のみ>



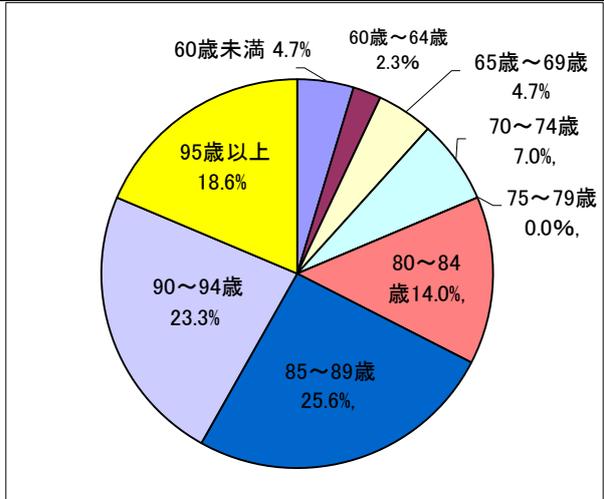
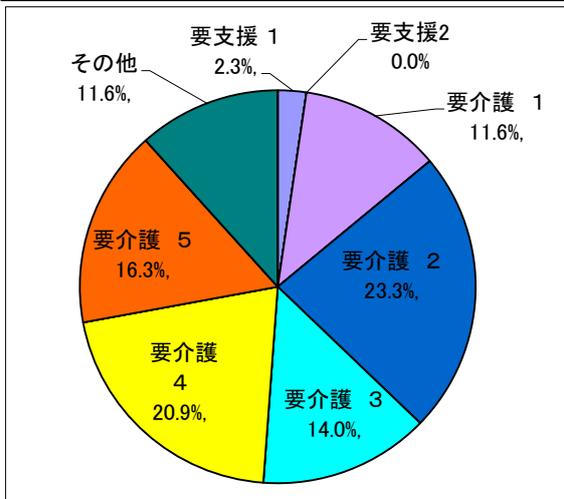
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
20分未満(訪看 1)	0	1	5	2	0	5	1	0	0	0	0	0	14	1.2
訪看 1の比率	0%	1%	4%	1%	0%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%		0.7%
~30分未満(訪看 2)	118	106	93	96	109	126	133	107	107	113	112	99	1319	109.9
訪看 2の比率	69.8%	66.3%	69.9%	61.9%	69.9%	72.0%	73.5%	63.3%	59.1%	67.3%	69.1%	59.6%		66.8%
~60分未満(訪看 3)	31	46	33	41	29	28	28	31	35	30	26	33	391	32.6
訪看 3の比率	18.3%	28.8%	24.8%	26.5%	18.6%	16.0%	15.5%	18.3%	19.3%	17.9%	16.0%	19.9%		20.0%
~90分未満(訪看 4)	3	0	2	8	0	3	4	4	8	1	0	0	33	2.8
訪看 4の比率	1.8%	0.0%	1.5%	5.2%	0.0%	1.7%	2.2%	2.4%	4.4%	0.6%	0.0%	0.0%		1.6%
リハビリ20分(訪看 5)	17	8	5	10	18	18	16	27	31	24	24	34	232	19.3
訪看 5の比率	10.1%	5.0%	3.6%	6.4%	11.5%	10.0%	8.8%	16.0%	17.1%	14.3%	14.8%	20.5%		11.5%

(6) 年齢・要介護度別人数表

(単位:人)

R6年3月31日現在

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		その他(医療)		合計	構成割合
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
60歳未満															1	1	2	4.7%
60歳～64歳															1		1	2.3%
65歳～69歳									1							1	2	4.7%
70歳～74歳					1						1	1					3	7.0%
75歳～79歳																	0	0.0%
80歳～84歳						1	1	1		1			2				6	14.0%
85歳～89歳					1		1	2		1	1	3		1	1		11	25.6%
90歳～94歳	1					2	1	2				3		1			10	23.3%
95歳以上							1	1	1	2				3			8	18.6%
合計	1	0	0	0	2	3	4	6	2	4	2	7	2	5	3	2	43	
	1	0	0	0	5	10	6	9	6	9	7	7	5	5	5			
構成割合	2.3%		0.0%		11.6%		23.3%		14.0%		20.9%		16.3%		11.6%		100%	



(7) 地域別契約者数

(単位:人)

令和6年3月31日現在

地域区分		男	女	小計	構成割合
真田町	長	6	7	13	30.2%
	本原	7	7	14	32.6%
	傍陽	0	8	8	18.6%
	普平高原	2	0	2	4.7%
旧上田市		1	5	6	14.0%
合計		16	27	43	100.0%

① 事業内容(2023 年度総括)

2023 年度事業計画骨子に基づき、各専門職が地域に出向き、生活を支えるために知識や技術の提供をしてきました。

1.全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

一人一人の専門職がご利用者様の生活を支えるため、工夫をして行動出来ました。

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組めます

ご利用者様の人権・尊厳保持を念頭におき、最期までそのひとらしさを追求しケアをしてきました。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します

専門職として地域に出掛けそのひとらしく、安心して暮らせることができるように心がけ支援しました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

・各専門職が地域に出向き依頼に基づき支援・・・100%

特に、グループホームでの栄養評価やポジショニング、福祉用具の選定など、専門職としてかかわること で、重度化の予防や自立への支援に繋がっています。

・職員の連携を目的としての会議・・・50%

③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

職員の育成・教育を行う事を継続していきます。

④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

・地域で専門職として連携を図る為に、会議をし依頼されたら迅速に対応していきます。

・安心して暮らせることができる地域づくりに貢献していきます。

① 事業内容(2023 年度総括)

ナーサリーさなだは、新体制のもと新しい保育指針に基づき、「主体性を尊重した保育」に取り組みました。また、一時預かり事業を新たに導入しました。

1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

- ・保育士同士の良いところを言葉に出し、認め、褒め、自己肯定感を高めました。
- ・保育士同士がお互いの思いや考えていることに耳を傾け、話を最後まで聴き合う職場環境を醸成するよう努めました。

2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

- ・子どもたちの気持ちを理解し、ときには代弁をし、寄り添う保育を心掛けました。
- ・保護者の希望を尊重し、一時預かりを含めいつでも受け入れるようにしました。
- ・子どもが正しい言葉を使えるよう努めました。

例 子ども「わんわん」→ 保育士「そうだね、犬がいたね」

3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

- ・散歩や園外行事の中で、保育士が率先してあいさつすることで、子どもたちがあいさつの習慣を身につけました。

② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

1. 質の高い保育を目指します

- ・職員会議での意見交換や話し合いの場を、誰もが否定されずに自由に意見が言えるようにしました。
- ・食育の一環として、保育士も子どもと同じ食事を一緒に摂ることによって、子ども目線で食事に対する会話が増え、食事が楽しい時間になりました。

2. 居心地のよい保育の場にします

- ・気持ちの共有やときには見守りを大切にし、子どもがやりたいことを十分に楽しめるような場を作りました。
- ・園外活動やイベントを通じて、楽しい時間がもてました。

3. 保護者が安心して預けられる保育所にします

- ・保護者との信頼関係を築くことで、子どもの育ちの支援ができ、気持ちに寄り添うことができました。
- ・3月に卒園した子どもや保護者との同窓会を開催しました。
- ・保護者の希望を受け入れて、一時預かりを 100%実施できました。

- ・実績 定員 16 名 年度当初利用園児 2 名 年度末利用園児 8 名  
(定員充足率 50%)

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

- ・子ども一人ひとりに合った保育を保育士間で共通理解を徹底し、子どもたちが遊び込める環境をつくれるようにします。
- ・保護者との面談の機会を設け、子どもの育ちの共通理解を図ります。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

- ・地域枠や一時預かりを受け入れ、ナーサリーさなだを知って広めていただくことで、定員に近づけます。
- ・子どもたちが楽しめるような活動を考え、実践をして、笑顔が見られる保育を目指します。
- ・季節のイベントなどで、法人の事業所を利用されているご利用者様とふれ合える場をつくり、こどもたちにとっても良い経験を積めるようにします。

### ① 事業内容(2023 年度総括)

10年後のアザレアンさなだを考える会では、「魅力のあるアザレアンさなだ」にしていくために、『学ぶ、話し合う、つながる、うごく』をテーマに活動をしてきました。コロナ禍で委員会の開催が減少した時期が続いていましたが、2023 年度は年間 10 回以上の会議や打ち合わせなど行ってきました。

#### 1. 全ての職員が新たな自分を発見し高められる 1 年にします

新人職員の入職に向けて研修の企画・立案し講義・実習を行いました。人に知識・技術を教えるためにそれぞれが学びなおし新たな自分達を発見・成長できた 1 年となりました。

#### 2. 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます

6 つの実践を職員研修会の動画視聴に合わせ周知しました。委員からその月の実践テーマに対し 3 分間スピーチを行い、法人全体で取り組めるように工夫を行って来ました。

社内報を年 2 回発行し職員インタビューを掲載し、法人で一緒に働いている皆さんの顔の見える関係性を構築して来ました。

#### 3. 地域の一員として繋がり、地域に貢献します

真田町民生児童委員の会議にて、アザレアンさなだでの看取りの実践 2 事例の報告を行いました。地域の皆さんにアザレアンさなだの事を知っていただき委員の皆様の活動の一助になることができました。

### ② 2023 年度事業計画に対する達成率(数値)及び成果について

「勉強会の継続」 80%

人に伝えるために、自分自身の知識や技術を深めて、現場で生かしていくことができました。

「働きやすい職場にむけて」 80%

定期的な会議の開催や打ち合わせを重ね、みんなと話し合い活動に移すことができました。

6 つの実践について動画に撮り、職員全員が知ることができる仕組みが運用できました。80%

### ③ 改善すべき事項(未達成・継続事項)

定期的な会議の開催を継続していく中で、参加率も向上をしていきます。

### ④ 目標とする事項(2024 年度事業計画)

毎月会議の開催 年間 12 回 委員の参加率 80%以上

6 つの実践の周知 年間 12 回

社内報の発行 年間 2 回

## 年に 4 回の委員会法人委員会活動報告

名 称	委員長	活動内容	
衛生委員会	志賀 小池	毎月 1 回開催しました。職場環境改善チェックシートを活用し各事業所の設備の不具合や危険箇所について問題点を抽出し対策を検討しています。職員の健康保持増進、労災事故についても審議し防止に努めています。	
倫理・人権委員会	加藤 兼宗	前年度に実施した職員全体研修復命書を項目別にまとめ職員へ回覧 9月職員全体研修「法令順守・倫理」を担当。理事長に講師依頼 職員全体研修の復命書の簡素化 3月職員全体研修「プライバシーの保護・個人情報の保護」を担当	
安全委員会	事故	依田 唐澤	長野県の交通安全週間に合わせ 5 回の委員会を開催。 安全運転管理者と協力し、各事業所全職員への安全運転への啓発活動を行いました。
	防災	田中 西藤	衛生委員会との共催で開催 各事業所の緊急連絡網の更新依頼 防災設備の一部更新済 本体 防火管理責任者の更新揭示
広報委員会	尾澤 土屋	真田活き活きふるさと通信 5 月、8 月、10 月、2 月年 4 回 第 72 号～第 75 号を発行しました。	
感染症委員会	佐藤 片山	新型コロナウイルスの感染状況に応じ年 4 回の委員会を開催しました。新型コロナウイルス 5 類感染症移行後の対応についてと、インフルエンザ発症時のフローチャートの見直しを行い職員への発信を行いました。 食中毒防止に向けての情報の発信を行い意識向上に努めました。また食育について職員が学ぶ機会を追加しました。	
地域支え合い委員会	酒井 工藤	年 4 回の委員会を開催し、子ども食堂の参加と支え合い会議主催のイベントでの担当者を決めた。予定通りに参加できないこともあったが、グリュックの会では 10 月のにじいろフェスティバルに 5 人、12 月のおすそ分け会に 3 人、1 月の子ども食堂には 4 人参加できた。	
リスクマネジメント委員会	山口 上野	年 4 回の委員会を開催しました。各事業所の事故報告と検証を行いました。前年度からの課題だった、インシデントとアクシデントの分類基準が決定し 4 月からの事故分析に活かしていければと思います。職員研修にて、介護事故のリスクなどを周知することが出来ました。	
身体拘束適正化委員会	栗林 縷沢 山崎	虐待防止に関するポスター制作を行い、全事業所に配布した事で、全職員の意識付けを行うことが出来た。職員研修会の発表では実際にあった事例に関して前職員の意見を求めることで、より身近に身体拘束を感じ取ってもらえたと思う。	
褥瘡予防栄養委員会	池上 五十嵐	年 4 回の委員会を開催しました。マニュアルの見直しや各事業所の褥瘡の事例をそれぞれの専門分野から検討しました。1 月にはモルテン研修会にて高性能エアマットで圧分散できているか、圧抜きについて学びました。	